

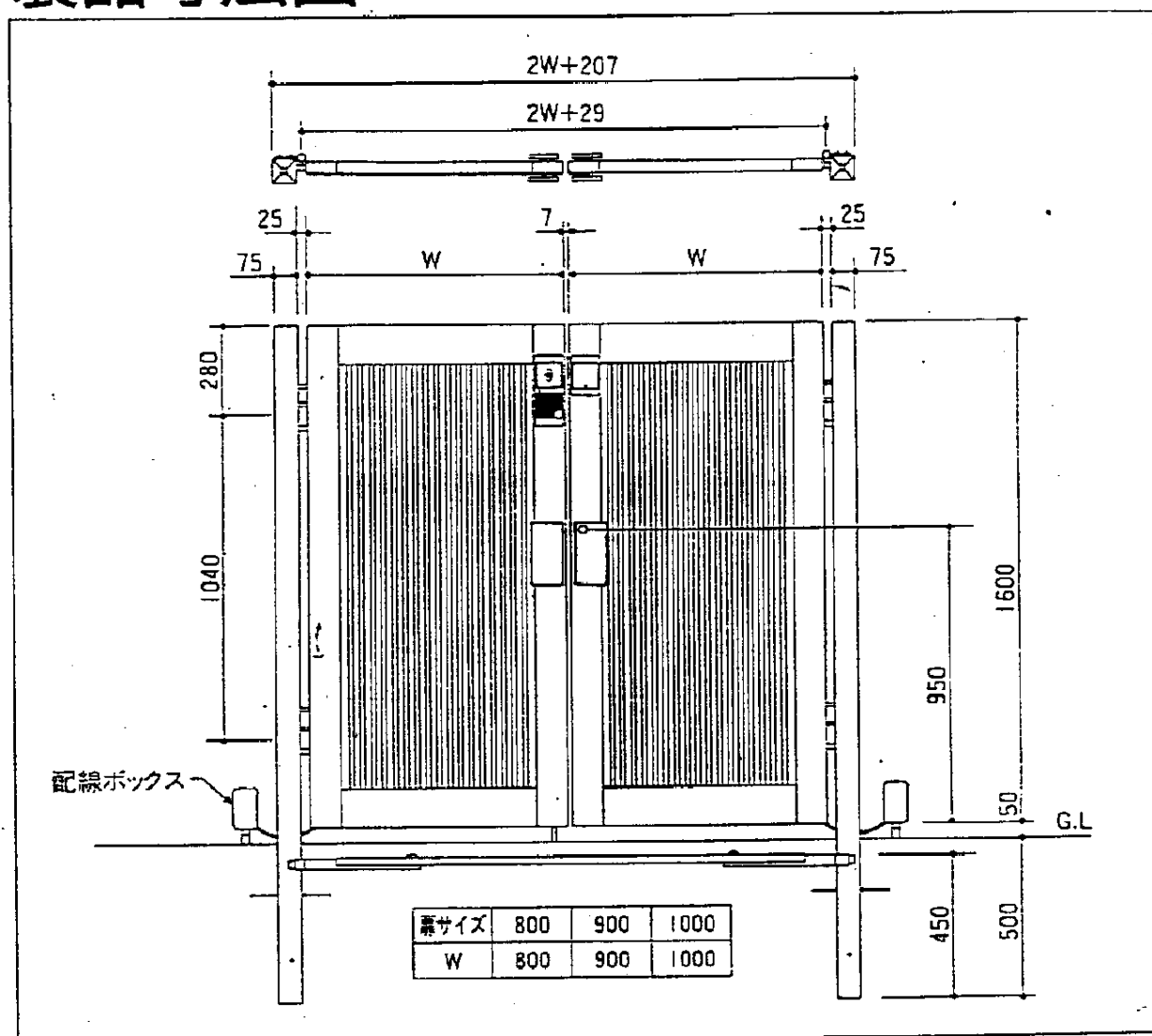
めいめいもん  
ナショナル アルミ高級門扉銘名門シリーズ

2線式 電気錠付

# 施工説明書

ご施工前にこの説明書をよくお読みいただき正しく施工してください

## 製品寸法図



このたびは、アルミ高級門扉をお買い上げいただきましてありがとうございました。

- 施工は必ずこの施工説明書に従って正しく施工してください。
- 電気配線工事は電気工事業者に必ず依頼してください。
- 商品には「ご使用説明書」および「保証書」を添付しています。
- 「保証書」には、販売店名、お引渡し日を記入の上、「ご使用説明書」とともに必ずお客様にお渡しください。

この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

# 梱包明細

条名門、透名門、秀名門、館名門、剛名門、飾名門すべて同様になります。

本品が届きましたら、ご注文の商品、品番であるかお確かめください。

なお念のため部品の不足、破損、変形などもお調べください。

右扉セット	部 品 名	個数	梱包数
	右扉	1	1
	ヒジツボ受金具	2	
	スライド固定金具	2	
	六角ボルト(M8×20)	4	
	座金(M8用)	4	
	ばね座金(M8用)	4	
	施工説明書		
	ご使用説明書		

左扉セット	部 品 名	個数	梱包数
	左扉	1	1
	ヒジツボ受金具	2	
	スライド固定金具	2	
	六角ボルト(M8×20)	4	
	座金(M8用)	4	
	ばね座金(M8用)	4	
		1	
		1	

2線式電気錠用取っ手 (ラッシュナール型)(両開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	可動外ハンドル(シリンダー錠付)	1	1
	可動内ハンドル(コインサムターン付)	1	
	固定外ハンドル	1	
	固定内ハンドル	1	
	取付板	1	
	皿小ねじ(M4×25)	6	
	鍵	3	
	落とし棒受皿	2	
施工説明書(取っ手用)	1		

2線式電気錠用取っ手 (ラッシュナール型)(片開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	可動外ハンドル(シリンダー錠付)	1	1
	可動内ハンドル(コインサムターン付)	1	
	取付板	1	
	皿小ねじ(M4×25)	3	
	鍵	3	
	落とし棒受皿	2	
	施工説明書(取っ手用)	1	

柱セット(両開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	支柱(□75)	2	1
	下枠	1	
	下枠固定金具	2	
	ヒジツボ	4	
	ヒジツボ軸	4	
	ヒジツボ座金	4	
	割ピン	4	
	根かせ	4	
	六角ボルト(M6×16)	4	
	六角ボルト(M6×95)	4	
	六角ボルト(M8×16)	8	
	六角ナット(M6用)	4	
	座金(M8用)	8	
ばね座金(M8用)	8		

柱セット(片開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	支柱(□75)	2	1
	下枠	1	
	下枠固定金具	2	
	機能框固定金具	2	
	ヒジツボ	2	
	ヒジツボ軸	2	
	ヒジツボ座金	2	
	割ピン	2	
	根かせ	4	
	六角ボルト(M8×16)	8	
	座金(M8用)	8	
	ばね座金(M8用)	8	
	六角ボルト(M6×16)	4	
六角ボルト(M6×95)	4		
六角ナット(M6用)	4		

埋込用ヒジツボセット (両開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	埋込用ヒジツボ	4	1
	ヒジツボ	4	
	ヒジツボ軸	4	
	ヒジツボ座金	4	
	割ピン	4	
	六角ボルト(M8×16)	8	
	座金(M8用)	8	
	ばね座金(M8用)	8	

埋込用ヒジツボセット (片開き用)	部 品 名	個数	梱包数
	埋込用ヒジツボ	4	1
	ヒジツボ	2	
	ヒジツボ軸	2	
	ヒジツボ座金	2	
	割ピン	2	
	機能框固定金具	2	
	六角ボルト(M8×16)	4	
	座金(M8用)	8	
ばね座金(M8用)	8		

配線ボックス	部 品 名	個数	梱包数
	配線ボックス	1	1
	1個用プレート(取付枠付)	1	
	配線プレート	1	
	押さえ板	1	
	タッピンねじ(M3×6)	2	
	皿小ねじ(M4×10)	2	
	皿小ねじ(M4×12)	4	
	六角ナット(M4用)	4	
ばね座金(M4用)	4		

機能框 (片開き専用)	部 品 名	個数	梱包数
	機能框	1	1
	六角ボルト(M8×16)	6	
	座金(M8用)	6	
	ばね座金(M8用)	6	

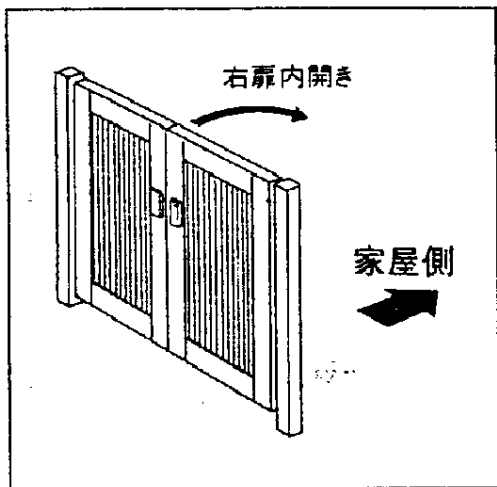
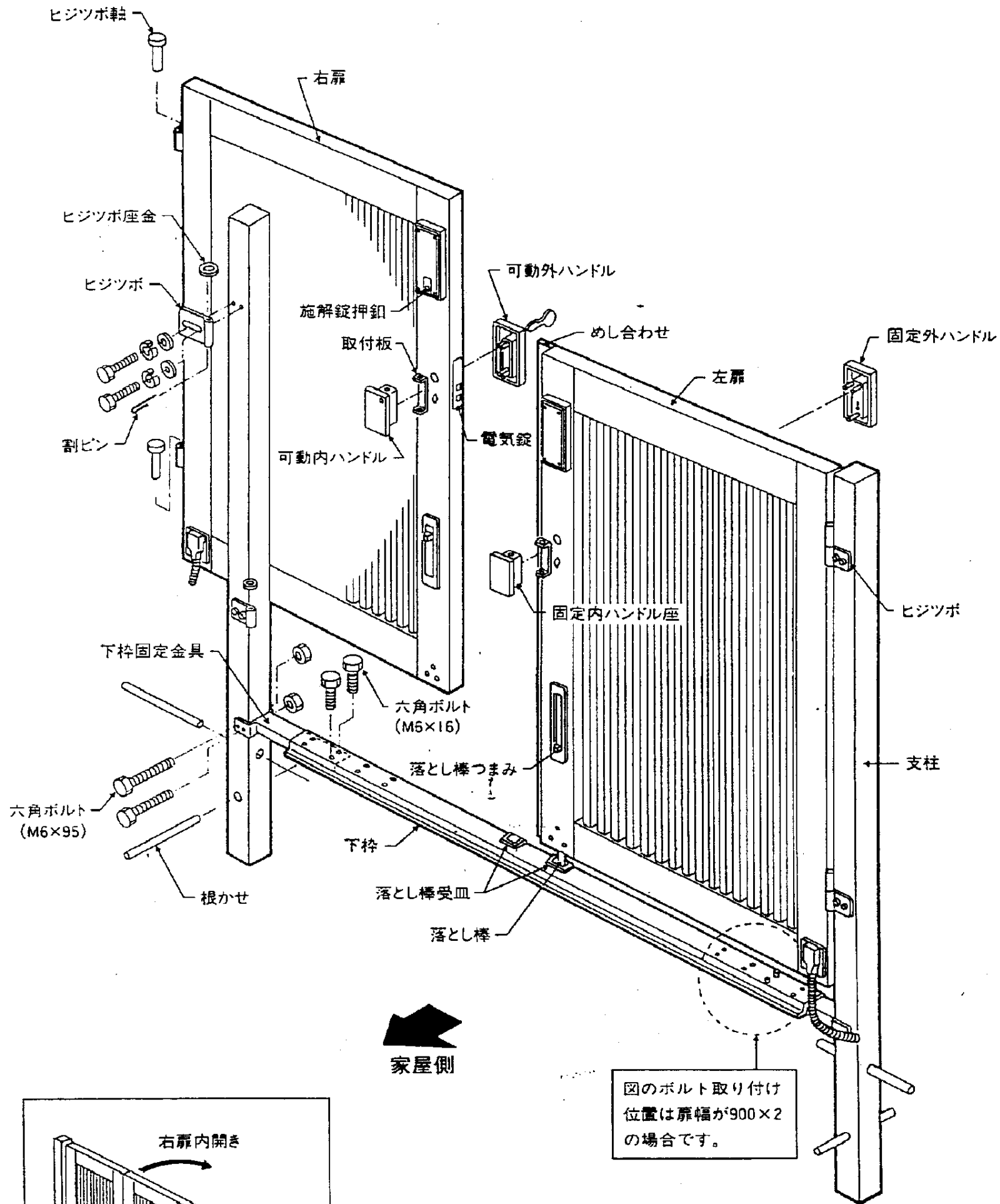
# 構成と各部の名称

条名門、透名門、秀名門、館名門、副名門、飾名門すべて同様になります。

## 両開施工

図は透名門(TXタイプ)〈電気錠、シーケツスイッチ、カメラドアホン子機付〉両開施工の場合です。

単位mm



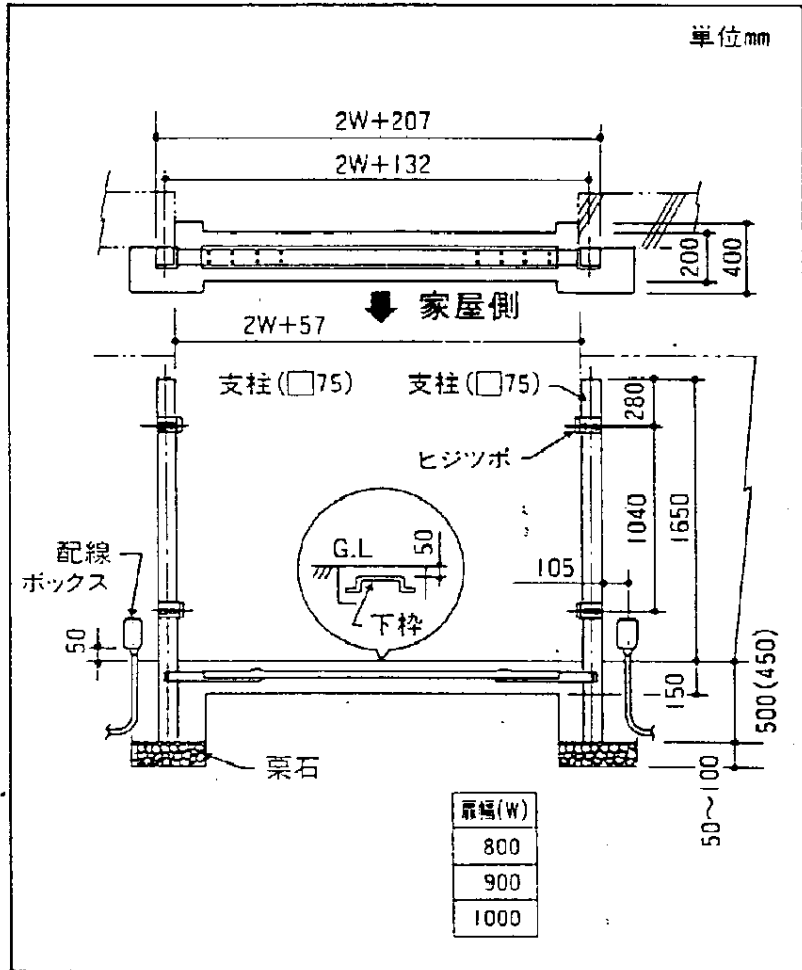
- 注) 1. 通常の開閉は右扉の内開きとなります。(外開きはできません)  
 2. ヒジツボは扉の建付調整ができなくなりますので、モルタル等で埋込まず、必ず露出させてください。

## 両扉施工の場合 扉は右内開きです。普通の出入りには右扉をご使用ください（外開きはできません）

### 1 基礎工事と柱のたてかた

#### ■柱施工の場合

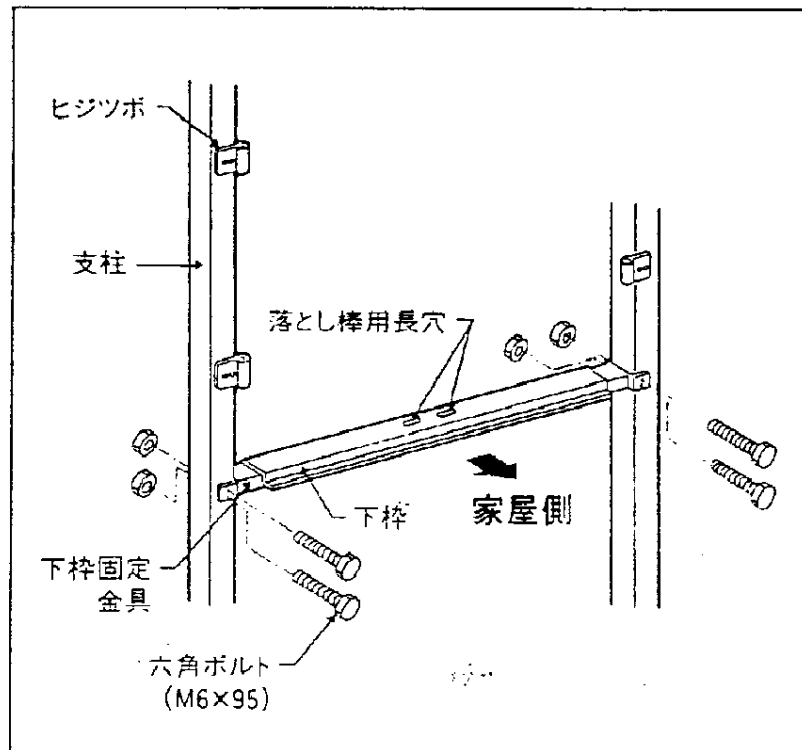
- (1)基礎用の穴を掘り、底に栗石を敷いてください。
- (2)支柱に根かせ取り付け、基礎穴に立て込み、埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、たる木などで固定してください。
- (3)コンクリートを入れ表面をモルタル仕上げしてください。



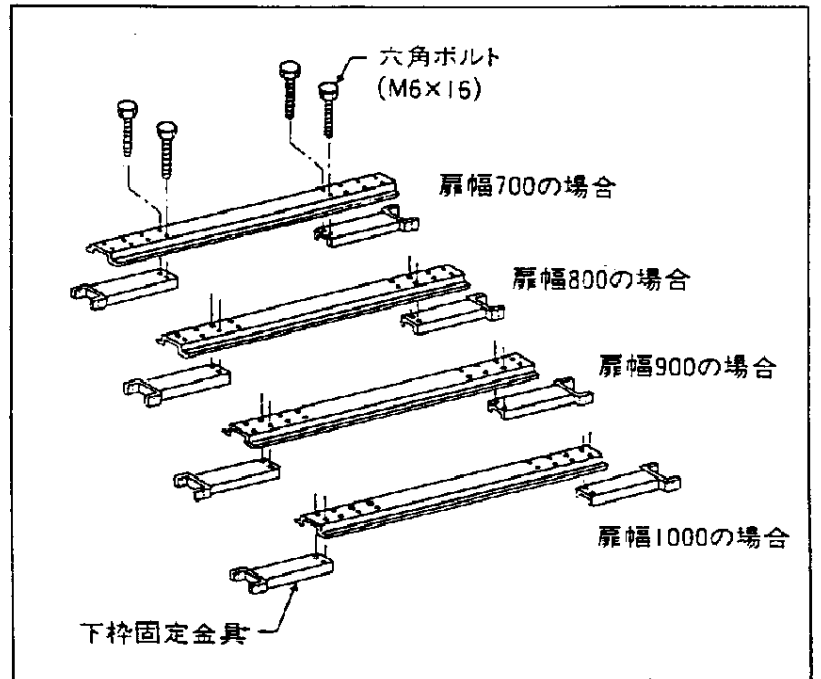
- 注) 1. 支柱はヒジツボのついている側を家屋側に向けてください。  
2. 下枠はG.L.より50mm埋め込んでください。

#### ●柱セットの組立

- (1)支柱にヒジツボを取り付けてください。
- (2)下枠固定金具と下枠を接続してください。
- (3)支柱に下枠固定金具を取り付けて下枠を固定してください。



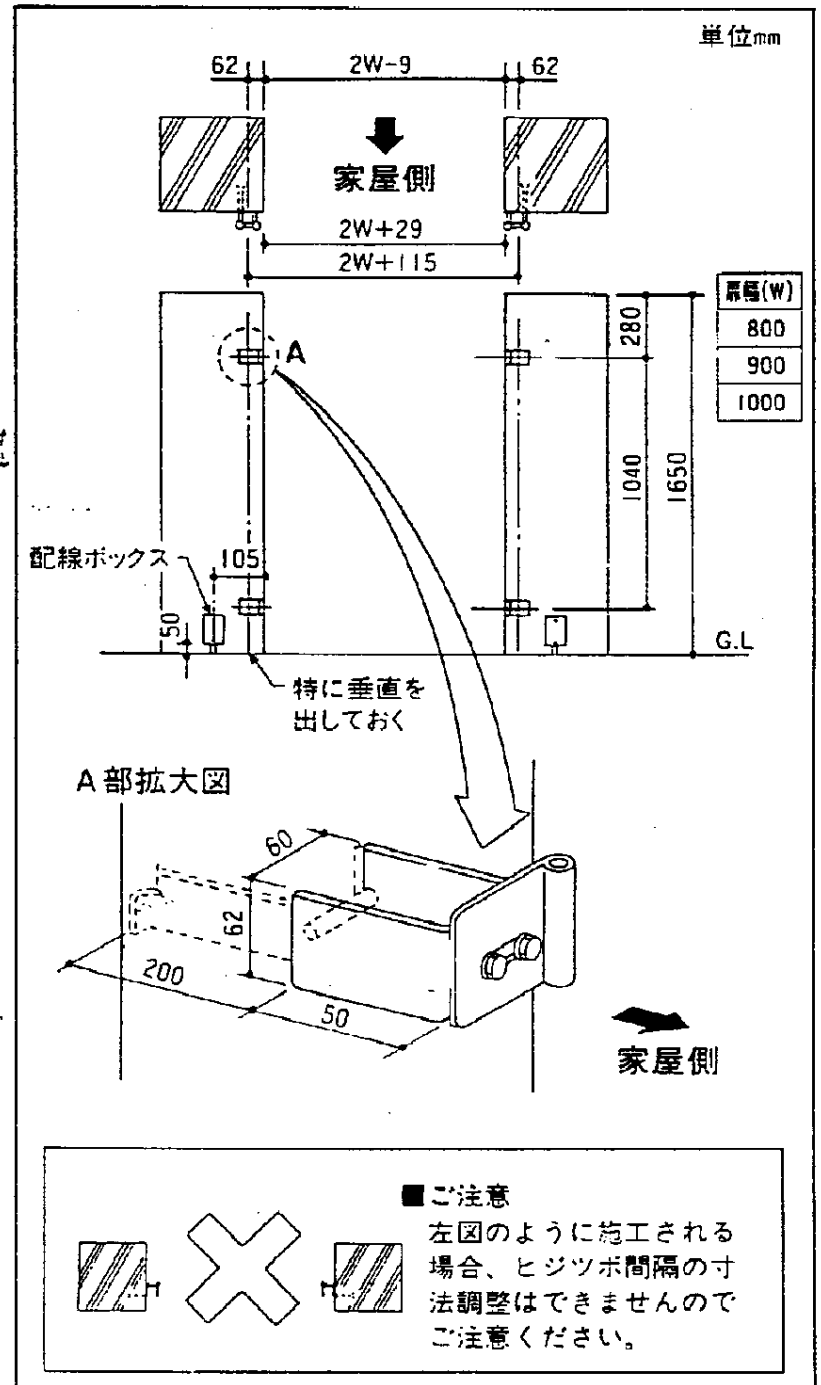
#### ●下枠固定金具と下枠の接続



注)ヒジツボ部分は、後で扉を調整するために露出させておいてください。

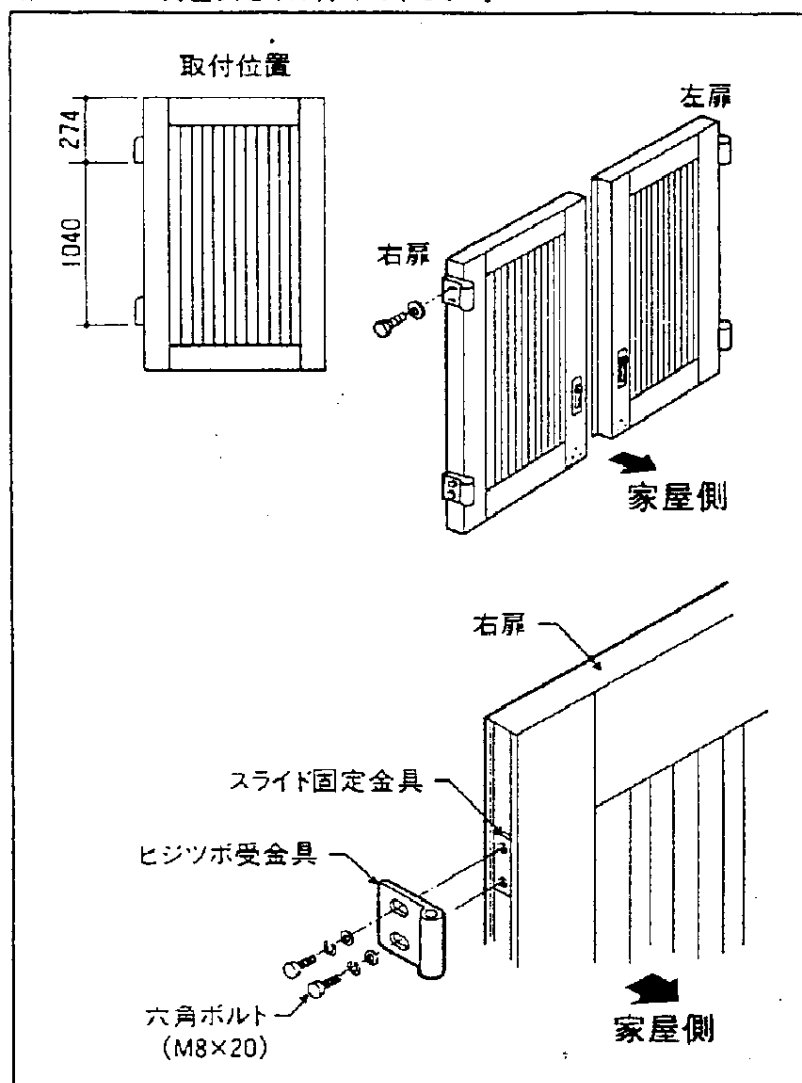
#### ■埋込用ヒジツボ施工の場合

埋込用ヒジツボの取り付け位置を決め門柱に穴をあけ、埋込用ヒジツボを取り付けた後、表面をモルタル仕上げしてください。



## 2 ヒジツボ受金具の取付

扉にヒジツボ受金具を取り付けてください。

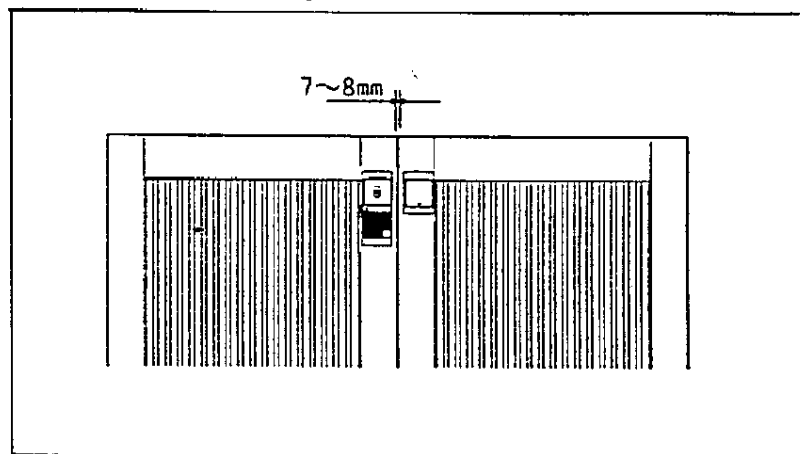


## 5 落とし棒用の穴

決めた位置のモルタルをハツリ、落とし棒受皿を埋め込んでください。

## 6 建付け調整

(1) 扉突き合わせ部のすき間は、7~8mmの範囲で平行になるように調整してください。広すぎたり、または狭すぎるときはヒジツボ固定ボルトをゆるめて調整してください。



(2) 左右の扉の高さが揃わないとき、および上下方向にねじれが出ているときは、ヒジツボ受金具固定ボルトをゆるめて調整してください。

注) 1. 扉突き合わせ部のすき間が7mm以下、または8mm以上の場合は誤動作を起こすことがあります。すき間の寸法は確実に守ってください。

2. 左扉の落とし棒ツマミを手前に引っ張りながら落とし棒を下げ、地面に差し込んで固定してください。  
右扉の落とし棒は、上にあげた状態にしておいてください。  
(右扉の落とし棒は、台風など強風の吹く恐れのある場合に補強として使用します。)

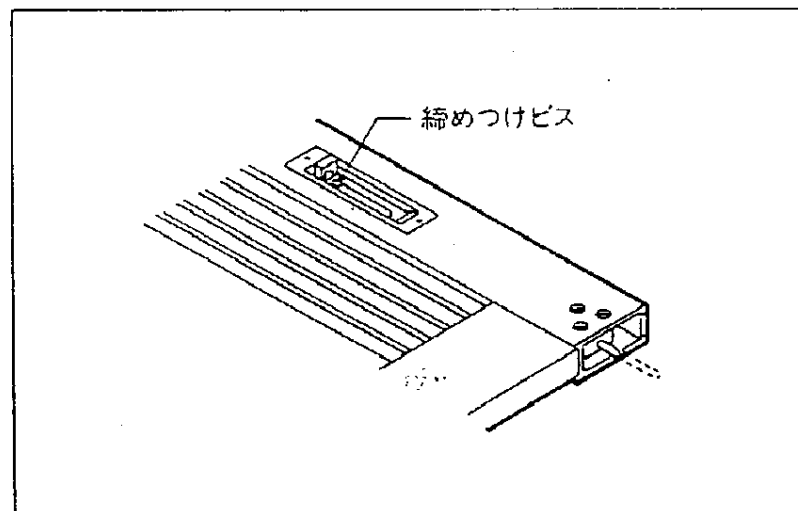
## 3 扉の取付 (P.2参照)

柱の周りのコンクリートが固ったことを確認し、支柱に扉を取り付けてください。

## 4 落とし棒の調整

落とし棒の調整は、扉とG.Lとのすき間50mm以内で設定しています。扉とG.Lとのすき間が50mm以上の場合には、締めつけビスをゆるめ、落とし棒をあらかじめ下の方に出してください。

(ただし、扉とG.Lとのすき間が130mmを越えると、落とし棒は地面にとどきません。)



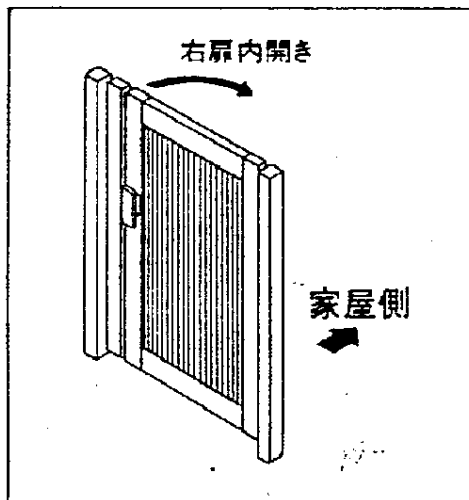
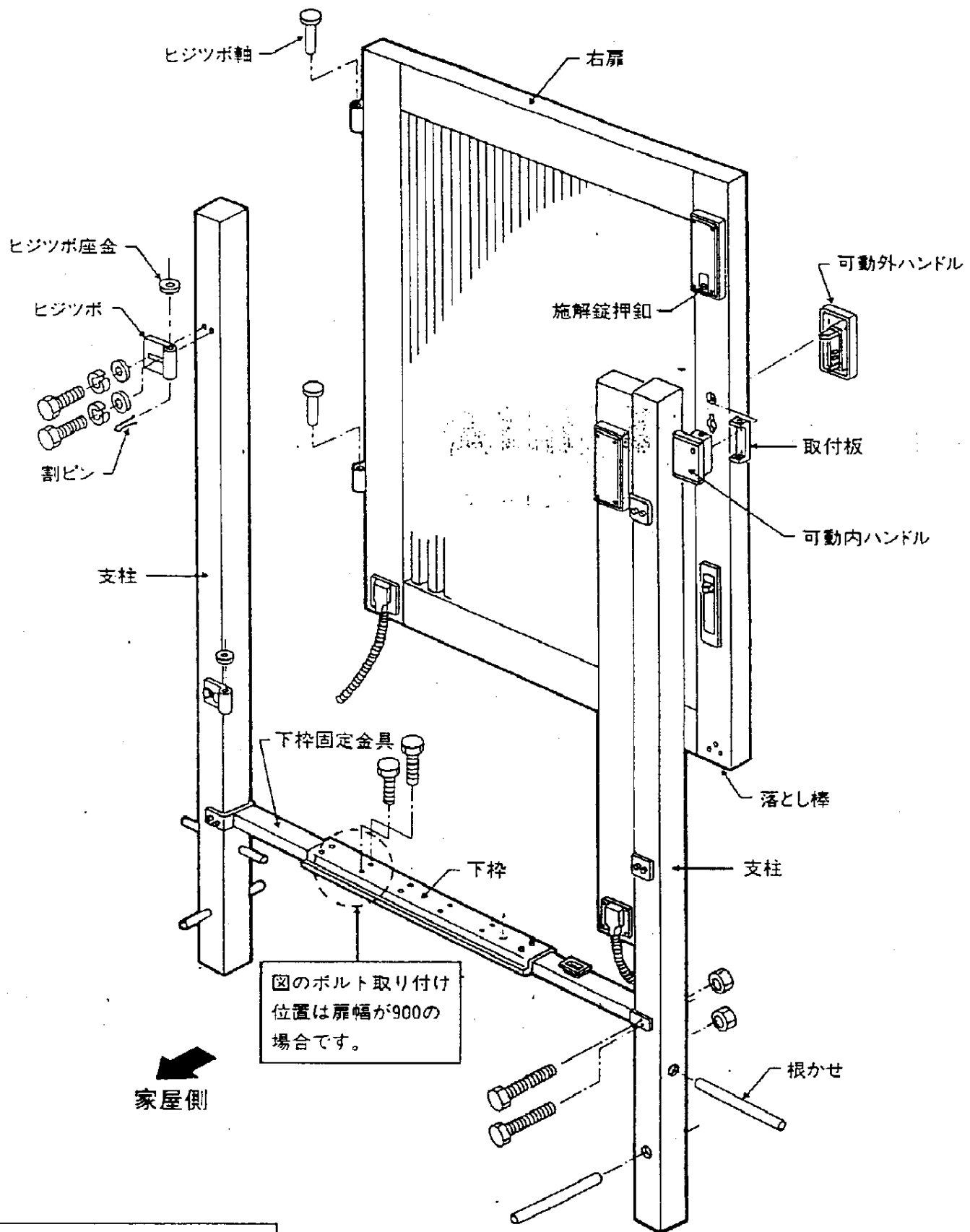
# 構成と各部の名称

糸名門、透名門、秀名門、館名門、剛名門、飾名門すべて同様になります。

## 片開施工

図は透名門(TXタイプ)〈電気錠、シーケツスイッチ、カメラドアホン子機付〉片開施工の場合です。

単位mm



- 注) 1. 通常の開閉は右扉の内開きとなります。(外開きはできません。) 2. ヒジツボは扉の建付調整ができなくなりますので、モルタル等で埋込まず、必ず露出させてください。

# 施工手順

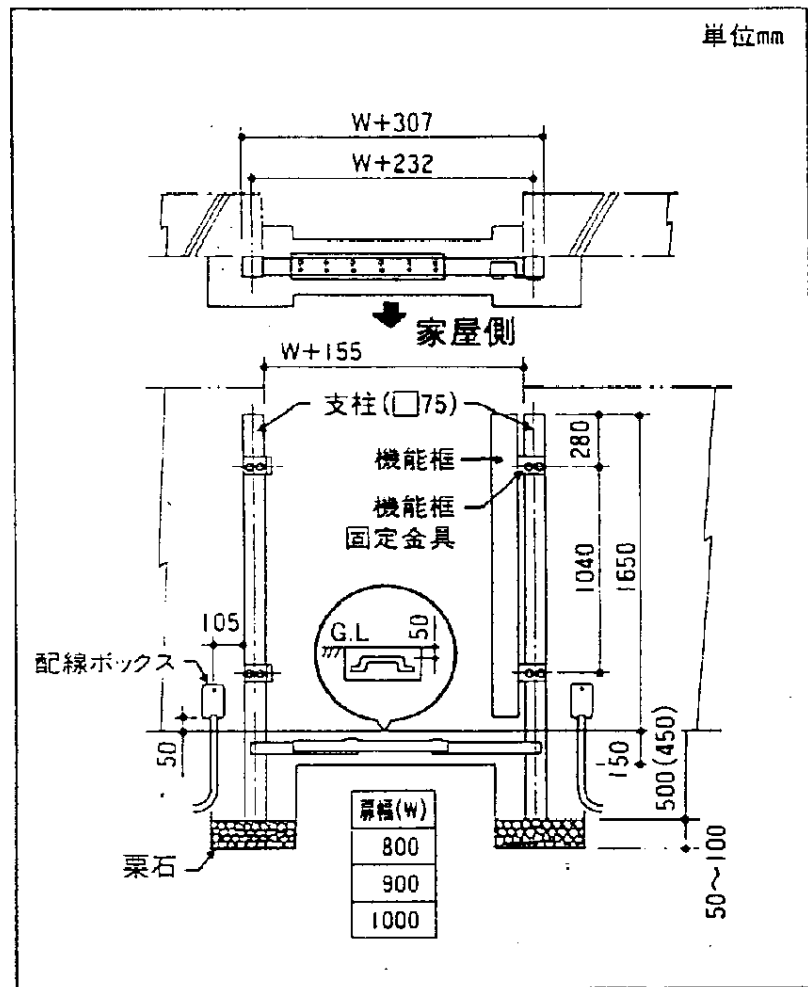
条名門、透名門、秀名門、館名門、剛名門、飾名門すべて同様になります。

## 片扉施工の場合 (右扉は内開きとなります。外開きはできません。)

### 1 基礎工事と柱のたてかた

#### ■柱施工の場合

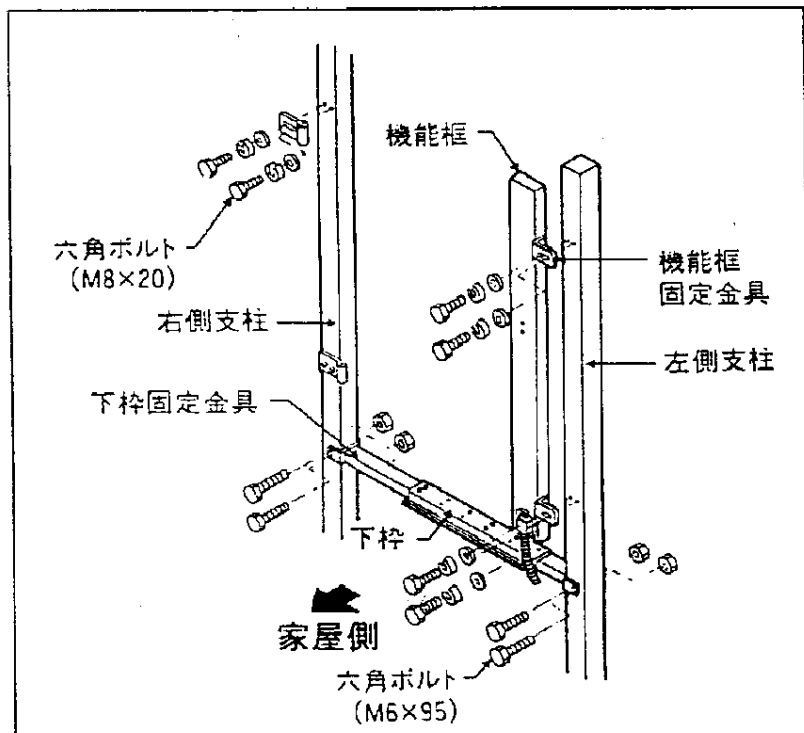
- (1)基礎用の穴を掘り、底に栗石を敷いてください。
- (2)柱を基礎穴に立て込み埋込位置、垂直度、水平度を調整し、たる木などで固定してください。
- (3)コンクリートを入れ表面をモルタル仕上げしてください。



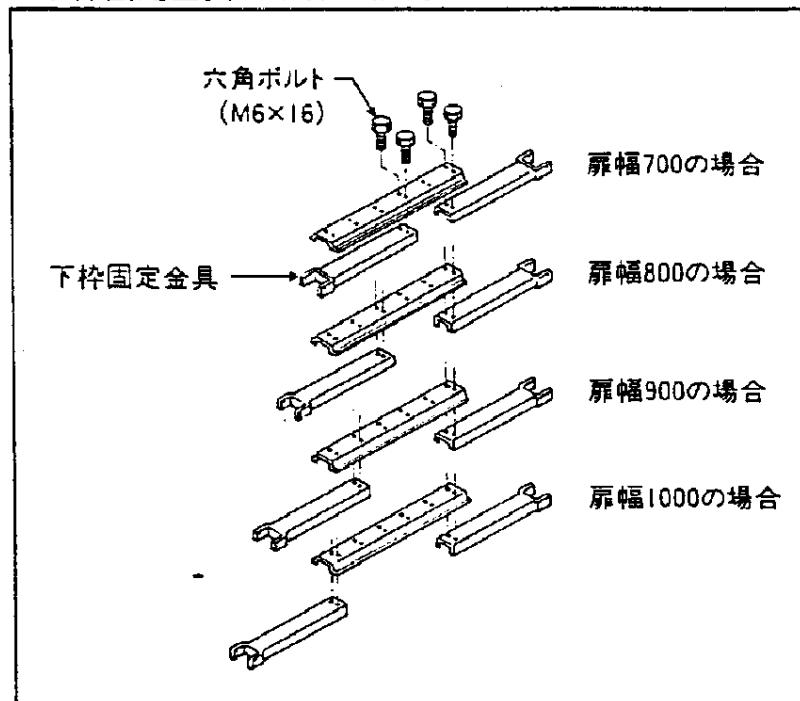
- 注) 1. 支柱はヒジツボのついている側を家屋側に向けてください。  
2. 下枠はG.L.より50mm埋め込んでください。

#### ●柱セットの組立

- (1)右の支柱にヒジツボを取り付けてください。
- (2)左の支柱に機能框固定金具を取り付けてください。
- (3)下枠固定金具と下枠を接続してください。
- (4)支柱に下枠固定金具を取り付けて下枠を固定してください。

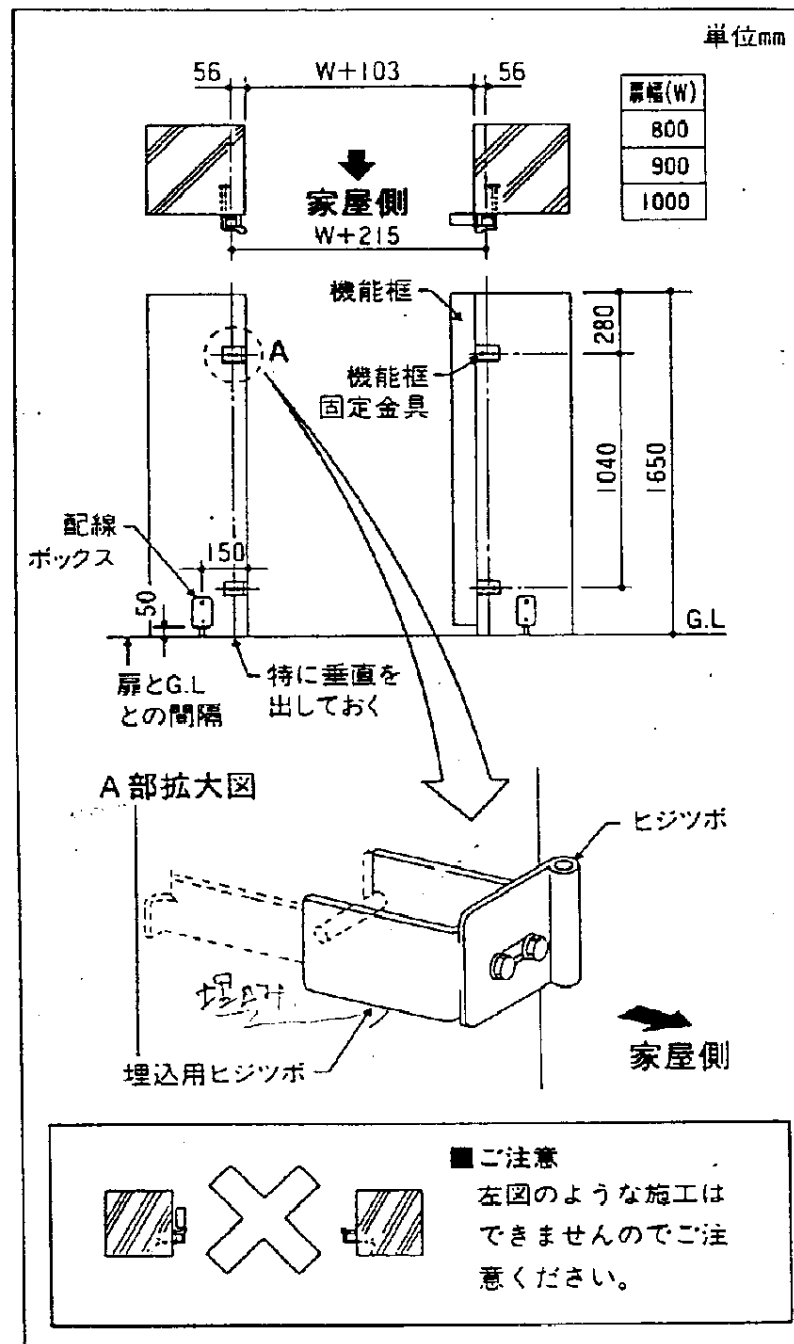


#### ●下枠固定金具と下枠の接続



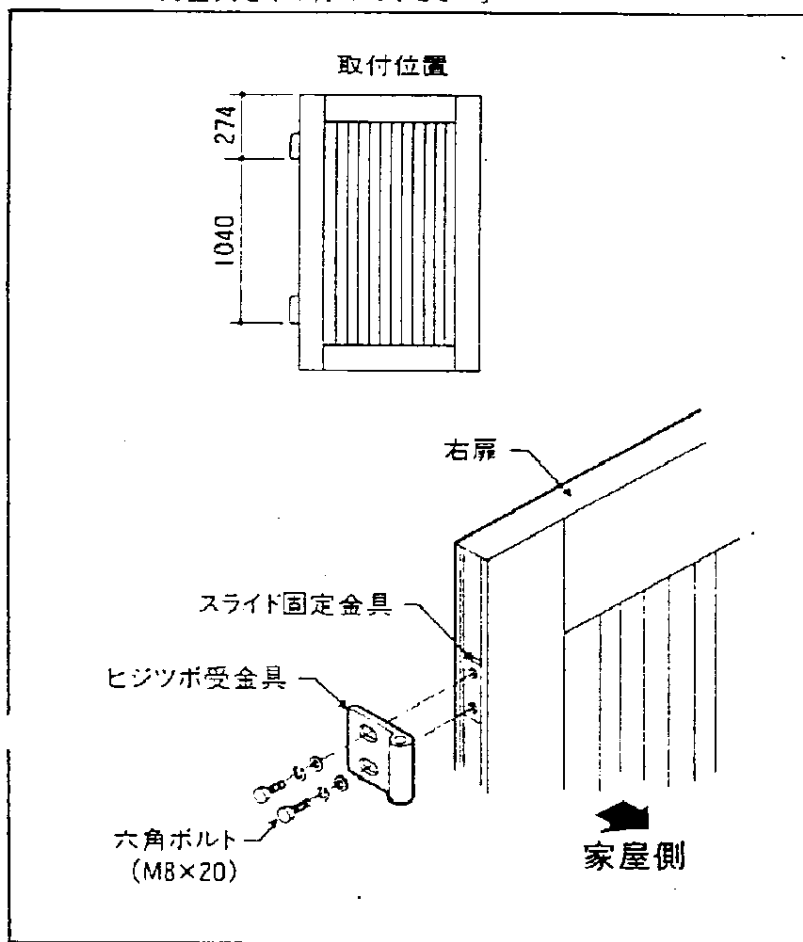
#### ■埋込用ヒジツボ施工の場合

埋込用ヒジツボの取り付け位置を決め門柱に穴をあけ、埋込用ヒジツボを取り付けた後、表面をモルタル仕上げしてください。



## 2 ヒジツボ受金具の取付

扉にヒジツボ受金具を取り付けてください。



## 3 扉の取付 (P.5参照)

柱の周りのコンクリートが固ったことを確認し、支柱に扉を取り付けてください。

## 4 落とし棒の調整

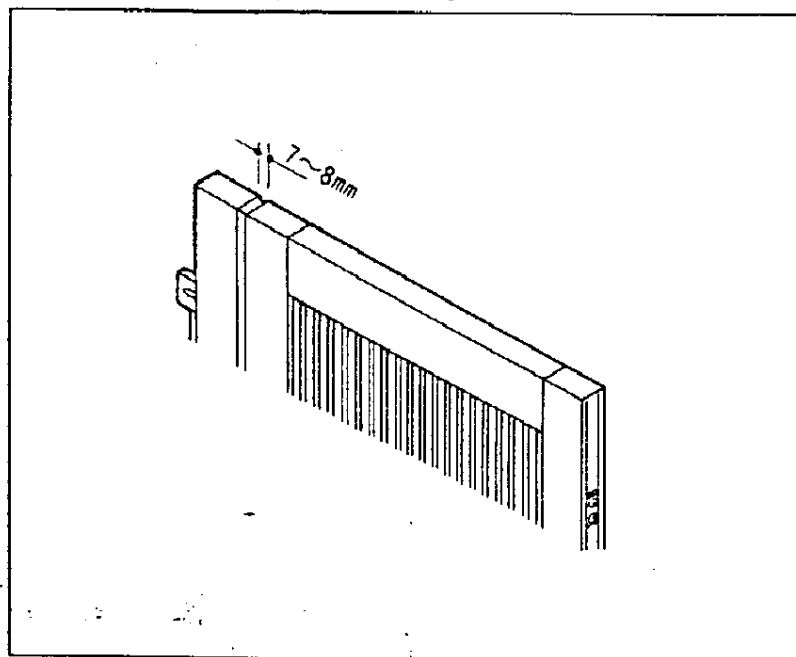
(P.4両扉施工参照)

## 5 落とし棒用の穴

決めた位置のモルタルをハツリ、落とし棒受皿を埋め込んでください。

## 6 建付け調整

(1) 扉と機能框の突き合わせ部のすき間は、7~8mmの範囲で平行になるように調整してください。広すぎたり、または狭すぎるときはヒジツボ固定ボルトをゆるめて調整してください。



(2) 機能框と扉の高さが揃わないとき、および上下方向にねじれが出ているときは、ヒジツボ受金具固定ボルトをゆるめて調整してください。

注) 1. 扉突き合わせ部のすき間が7mm以下、または8mm以上の場合は誤動作を起こすことがあります。すき間の寸法は確実に守ってください。

2. 落とし棒は上にあげた状態にしておいてください。

〔落とし棒は、台風など強風の吹く恐れのある場合に、補強として使用します。〕



# 施工手順

条名門、透名門、秀名門、館名門、剛名門、飾名門すべて同様になります。

## 取っ手の取付

(1)内ハンドル座の内座取付ネジ(上下2ヶ所)を外し、取付板を取り外してください。

(2)外ハンドル座取付

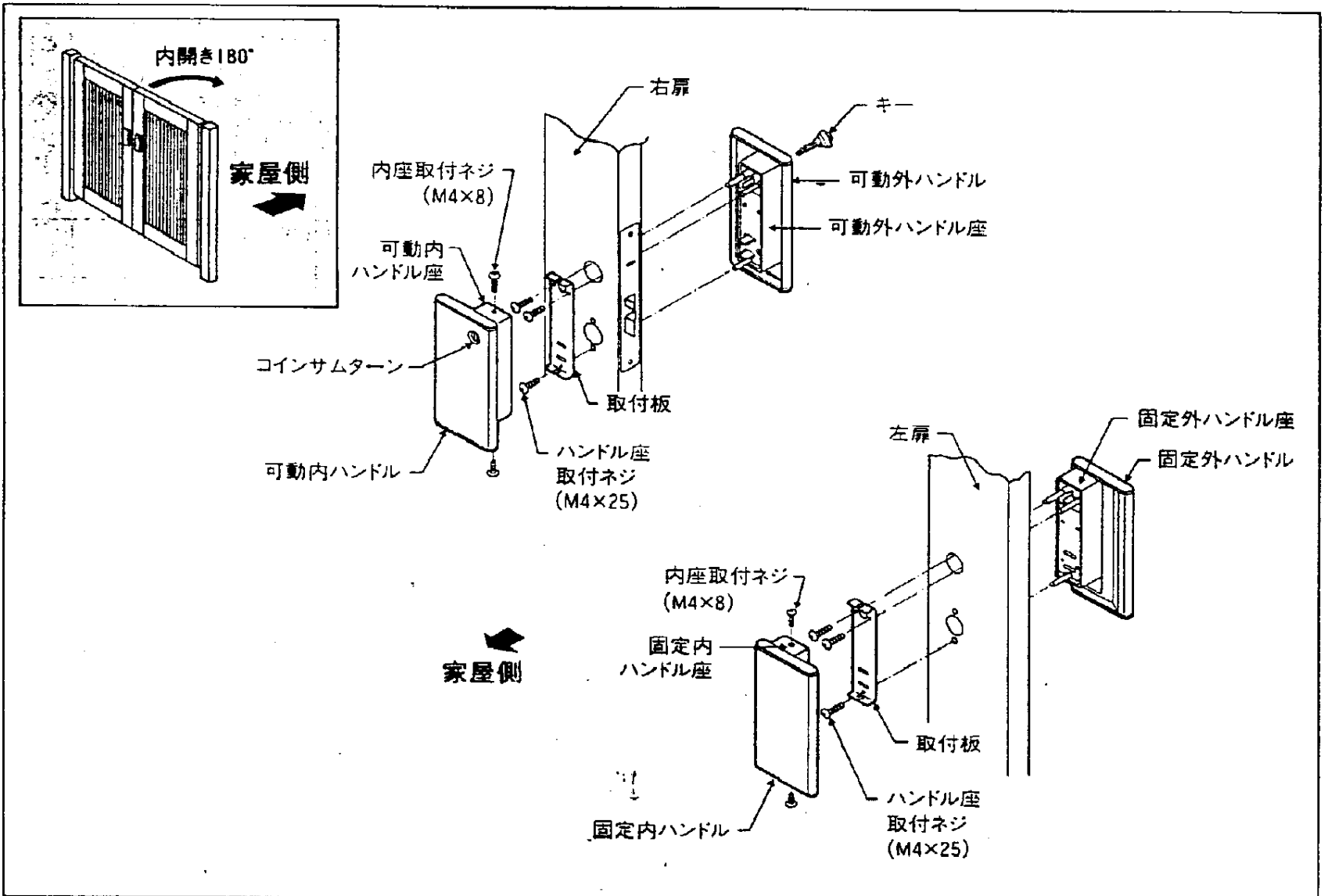
扉外側から外ハンドル座を差し込み、扉内側から取付板をあて、ハンドル座取付ネジ(M4×25)3本を締め付けてください。

注)取り付けは、キーをシリンダー穴から抜いて行ってください。

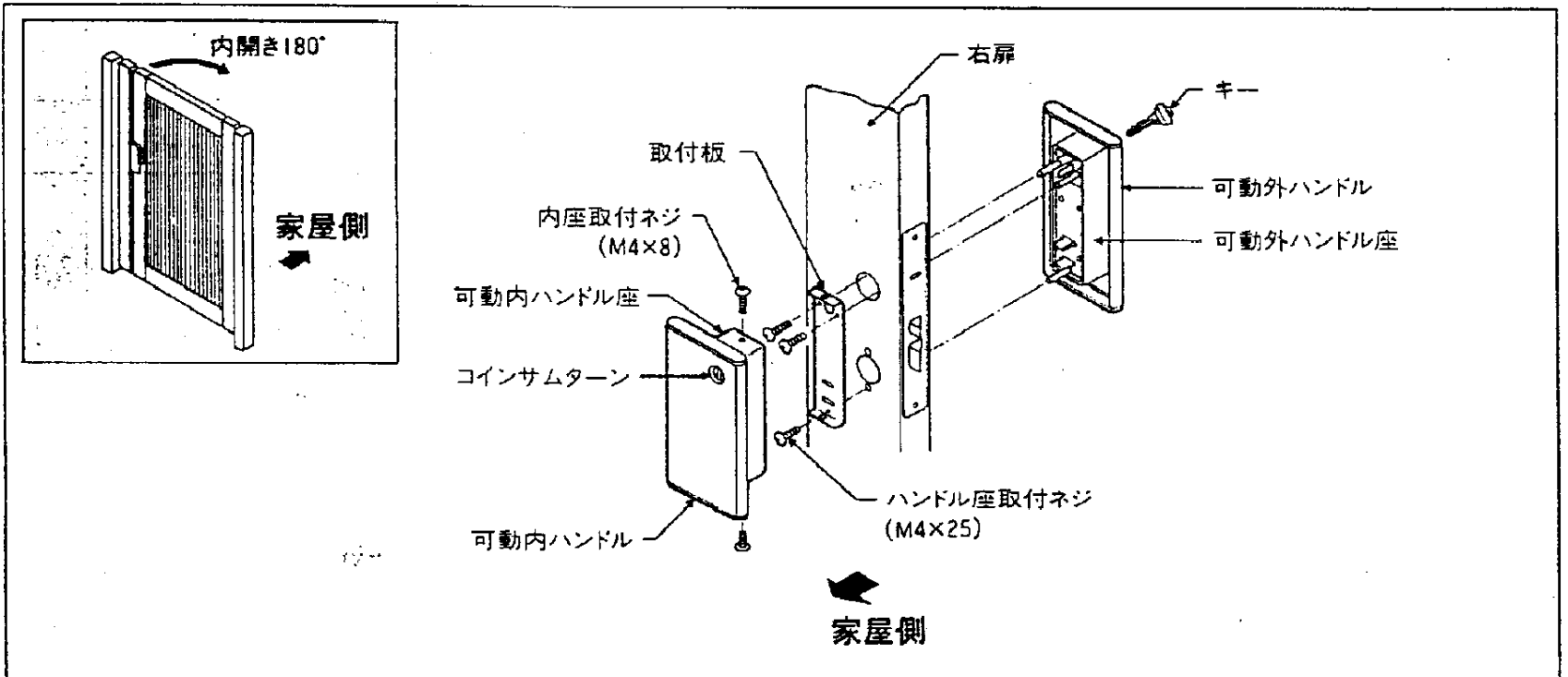
(3)内ハンドル座取付

内ハンドル座のコインサムターンの溝が、解錠時に縦向きになる様、内座取付ネジ(M4×8)2本で上下2ヶ所締め付けてください。

### ■両開きの場合

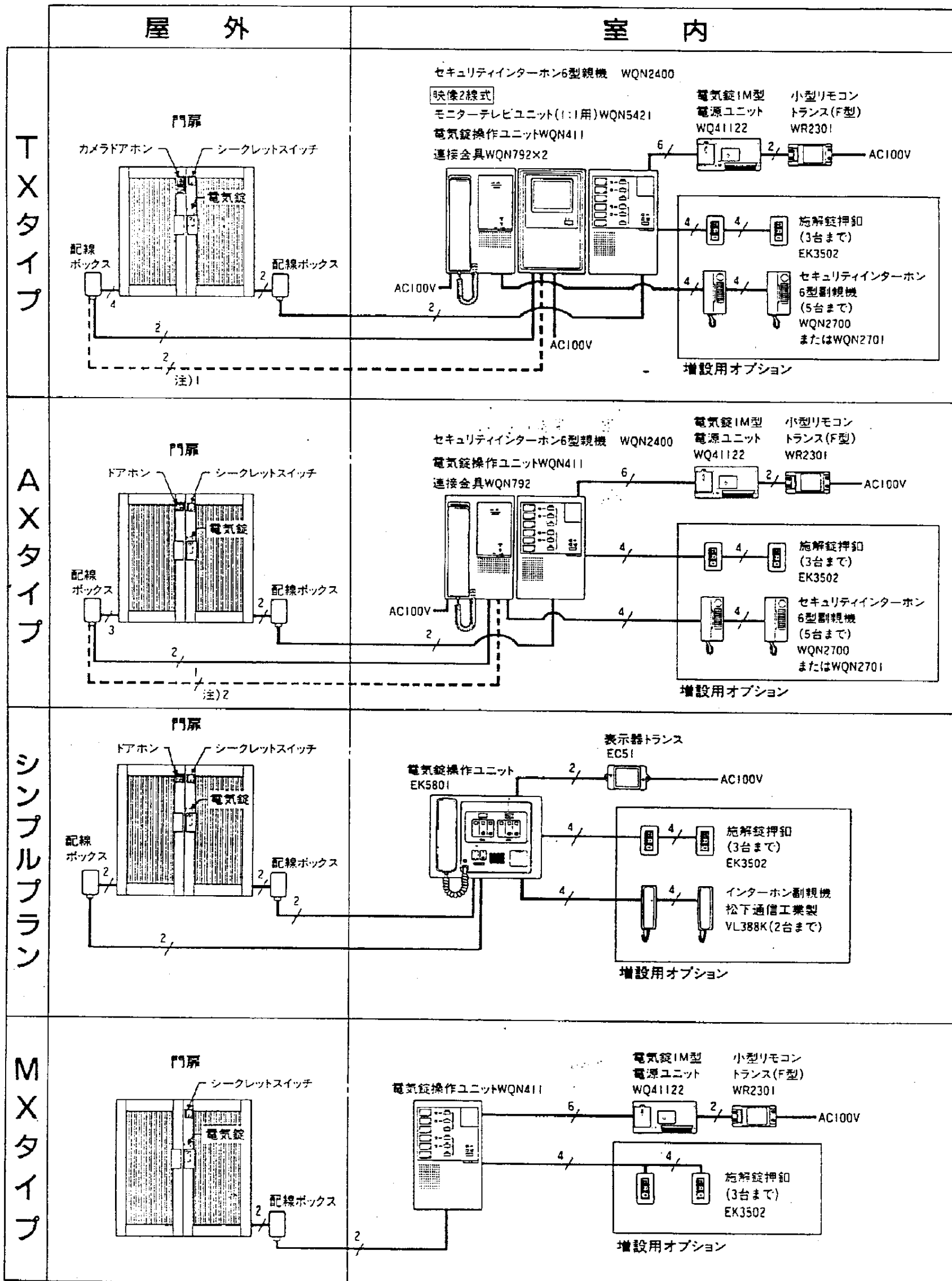


### ■片開きの場合



# 電気工事手順

## 電装システムと構成



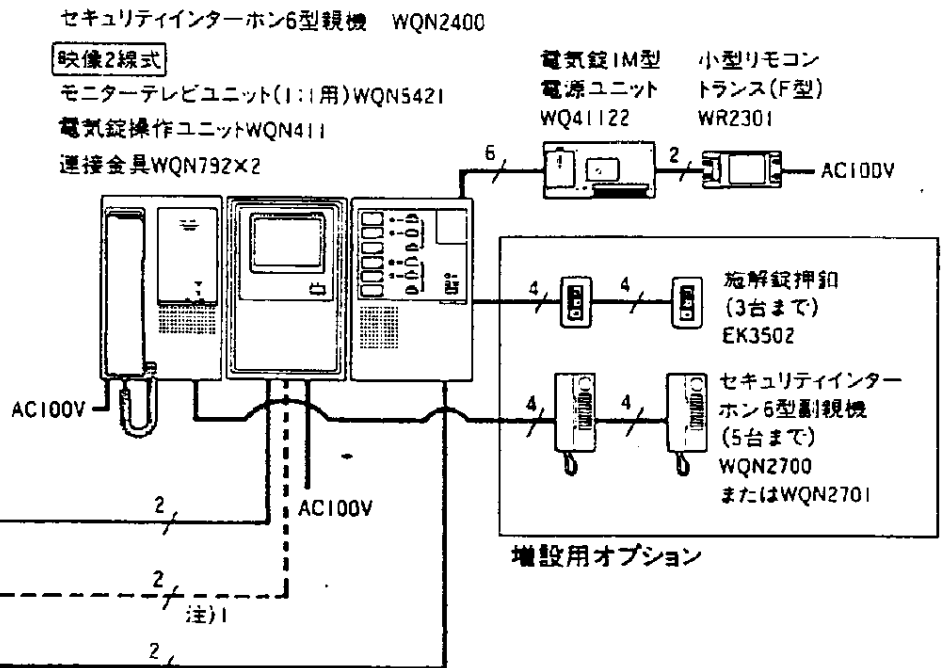
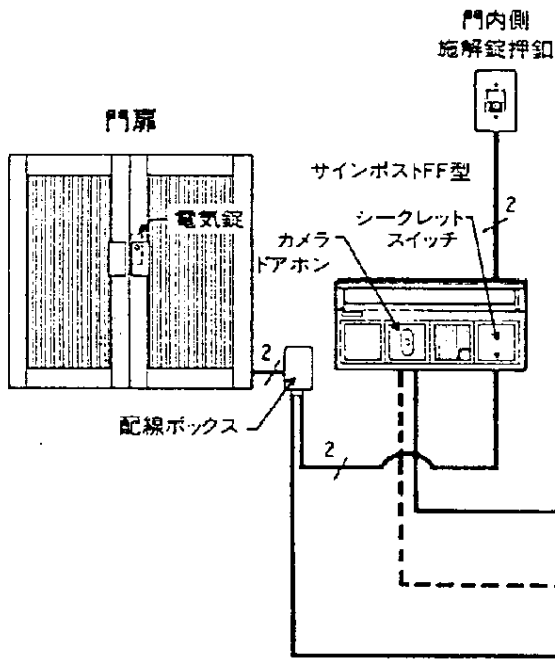
注1)カメラドアホン子機の通電表示灯または警報表示灯を使用する場合に-2-を配線してください。

注2)ドアホン子機の通電表示灯を使用する場合に-1-を配線してください。

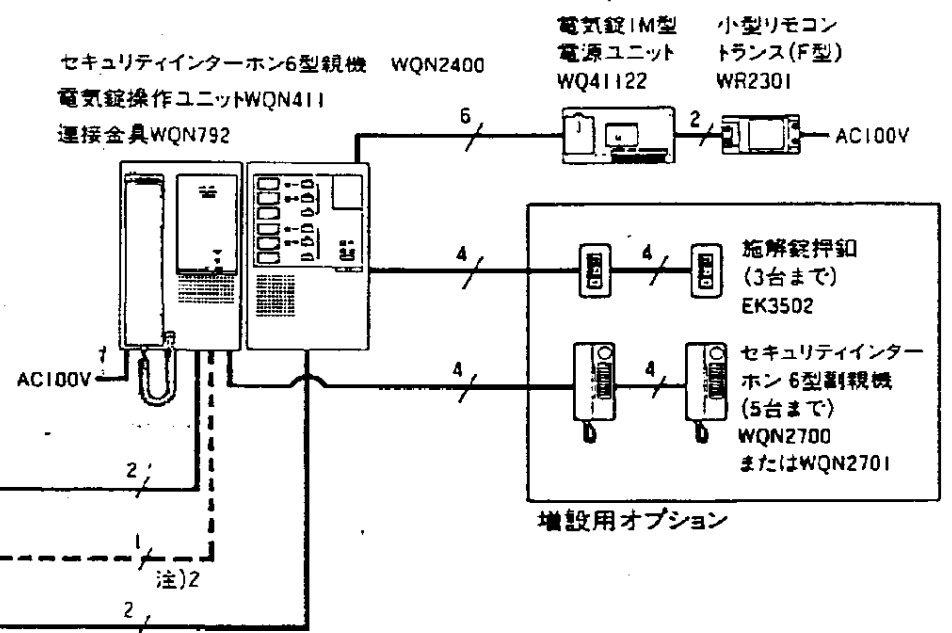
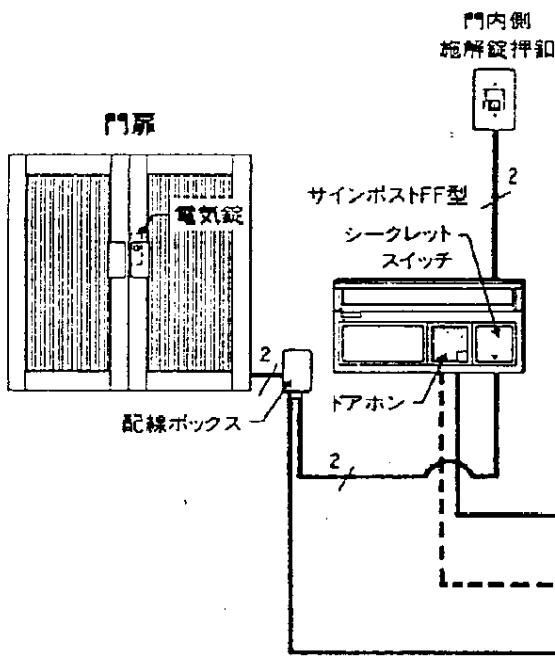
屋 外

室 内

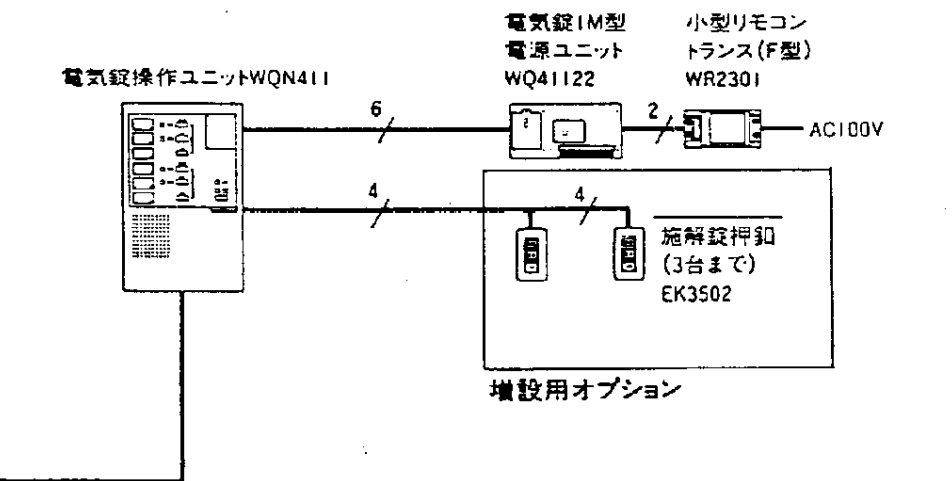
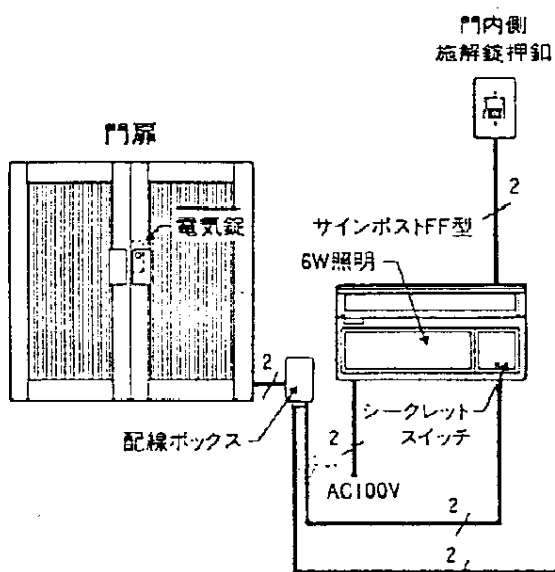
TP  
タイプ



AP  
タイプ



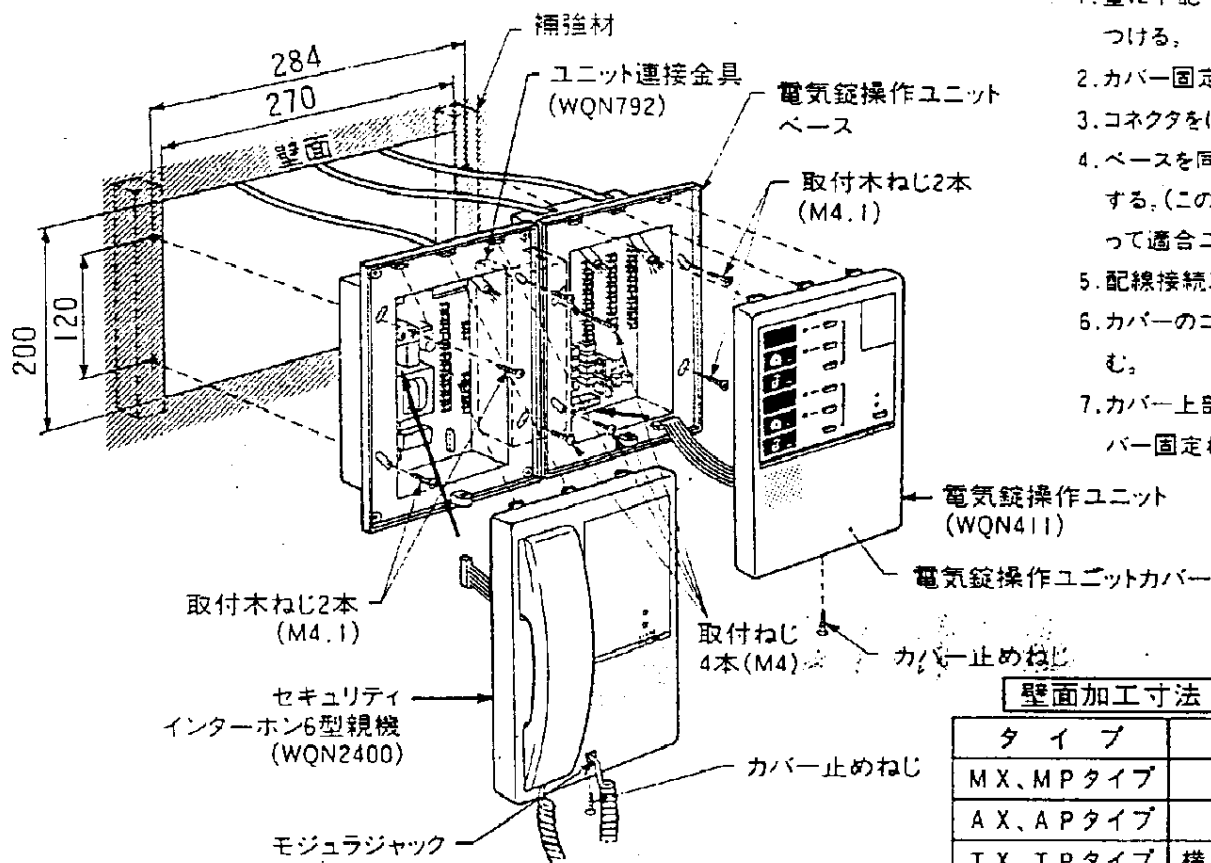
MP  
タイプ



# 取付方法

## 1 操作ユニット(埋込型)の取付方法 MX・MPタイプ、AX・APタイプ、TX・TPタイプの場合。

図はAX・APタイプの場合です。

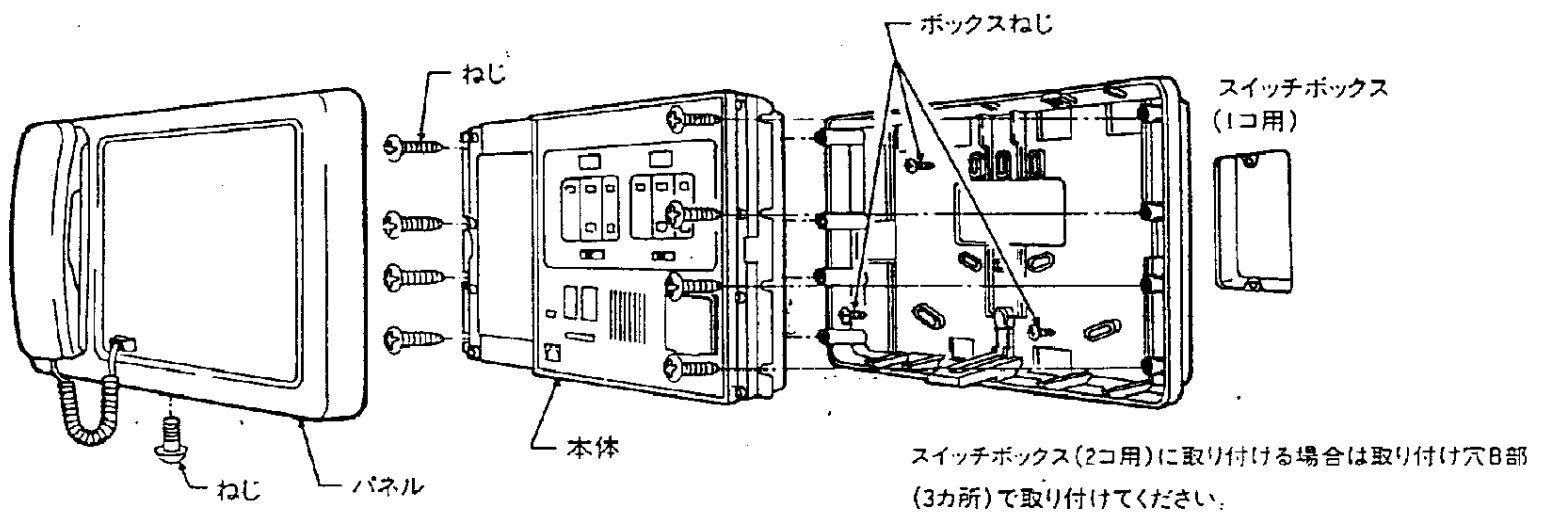


1. 壁に下記寸法の穴をあけ、取付補強用木材を取りつける。
2. カバー固定ねじをゆるめカバーをあける。
3. コネクタをはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースを同梱の丸木ねじ、座付ねじで壁面に固定する。(この時、接続するユニットの組み合わせによって適合ユニット接続金具をご使用下さい。)
5. 配線接続工事をする。
6. カバーのコネクタをベースのコネクタ受けに差し込む。
7. カバー上部のフックをベースに引掛け、カバーをカバー固定ねじで固定する。

壁面加工寸法

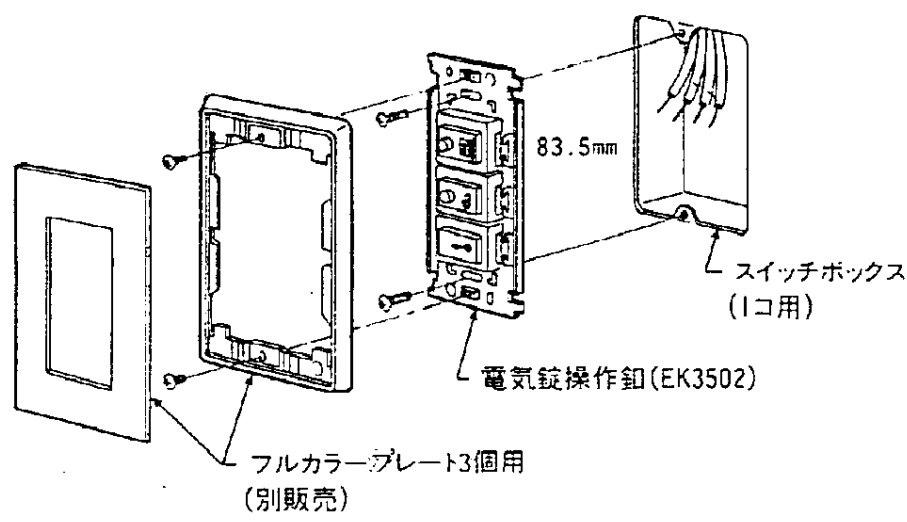
タイプ	ユニット	壁面加工部寸法
MX、MPタイプ	1 □	120×200 <sup>±0</sup>
AX、APタイプ	2 連接 □□	270×200 <sup>±0</sup>
TX、TPタイプ	横3 連接 □□□	420×200 <sup>±0</sup>

## 2 操作ユニット(露出型)の取付方法 シンプルプランの場合



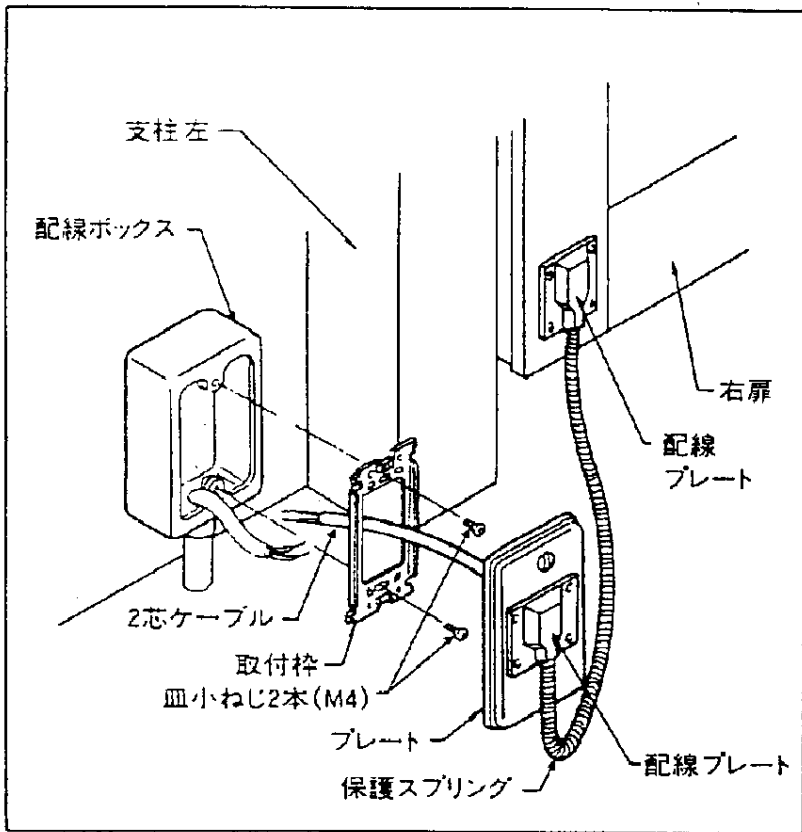
## 3 電気錠操作押釦の取付方法

ボックスなし工事の場合は壁材に合わせ、別売のはさみ金具WN3990(3~10mm用)を使って取り付けてください。

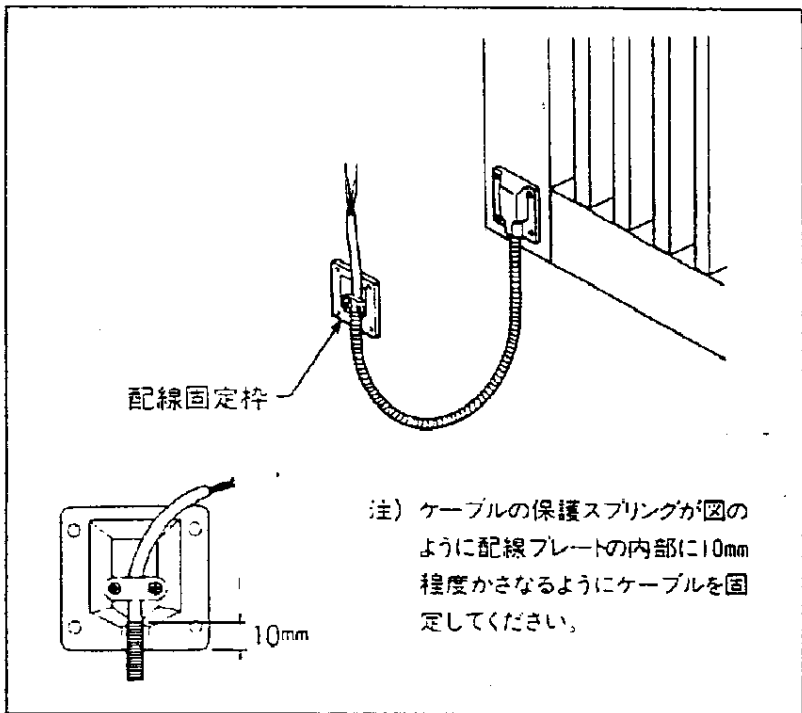


# 配線ボックス内の結線方法

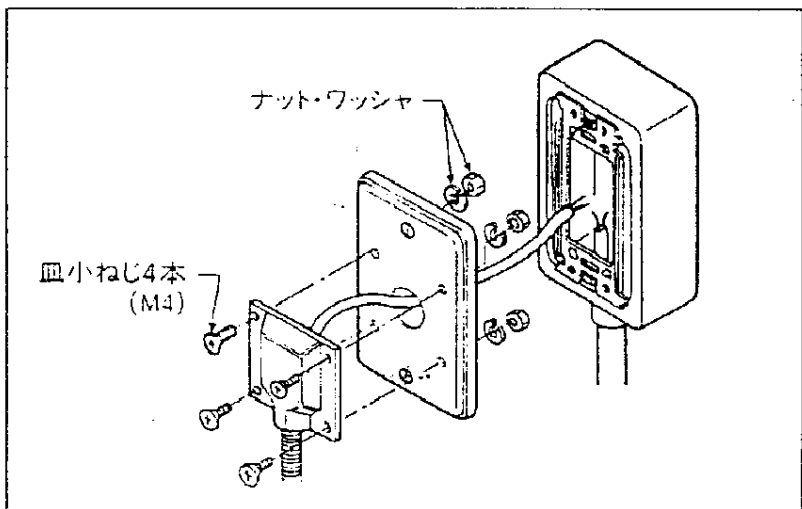
扉からの電線と室内からの電線とを、配線ボックスの中で結線してください。



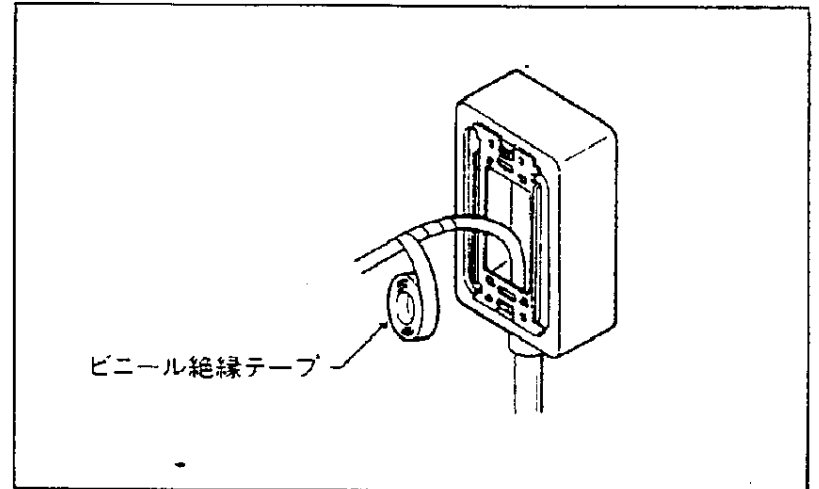
(1)配線ボックスのプレートから配線プレートをはずし、配線固定枠で門扉のケーブルを固定してください。



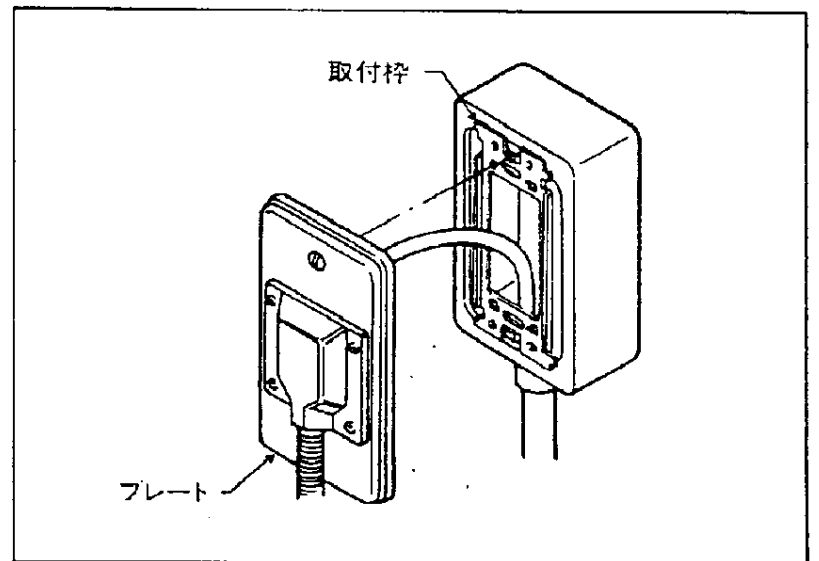
(2)配線プレートをプレートに取り付け、門扉からのケーブルと室内の操作ユニットからのケーブルとを結線してください。



(3)電線の接続後、それぞれの電線をビニール絶縁テープで巻いて絶縁を行ってください。

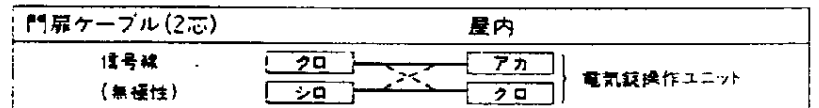


(4)接続部を配線ボックスの中に収め、取付枠とプレートを取り付けてください。

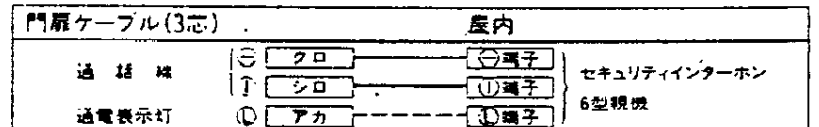


## ■接続方法

### ●電気錠・シークレットスイッチ付扉の場合

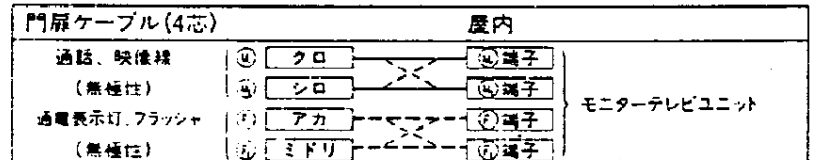


### ●ドアホン機付扉の場合



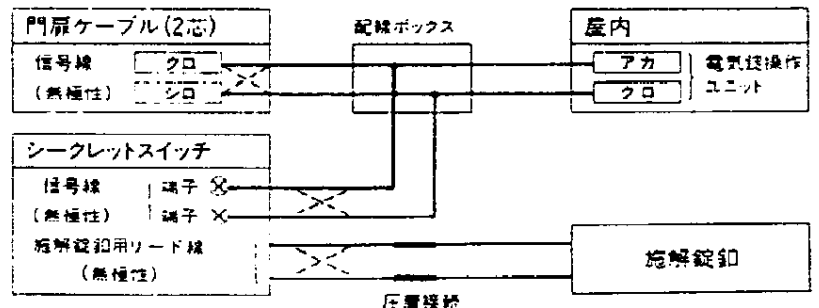
\*通話のみの場合、点線---の配線は不要です。

### ●カメラドアホン子機付扉の場合



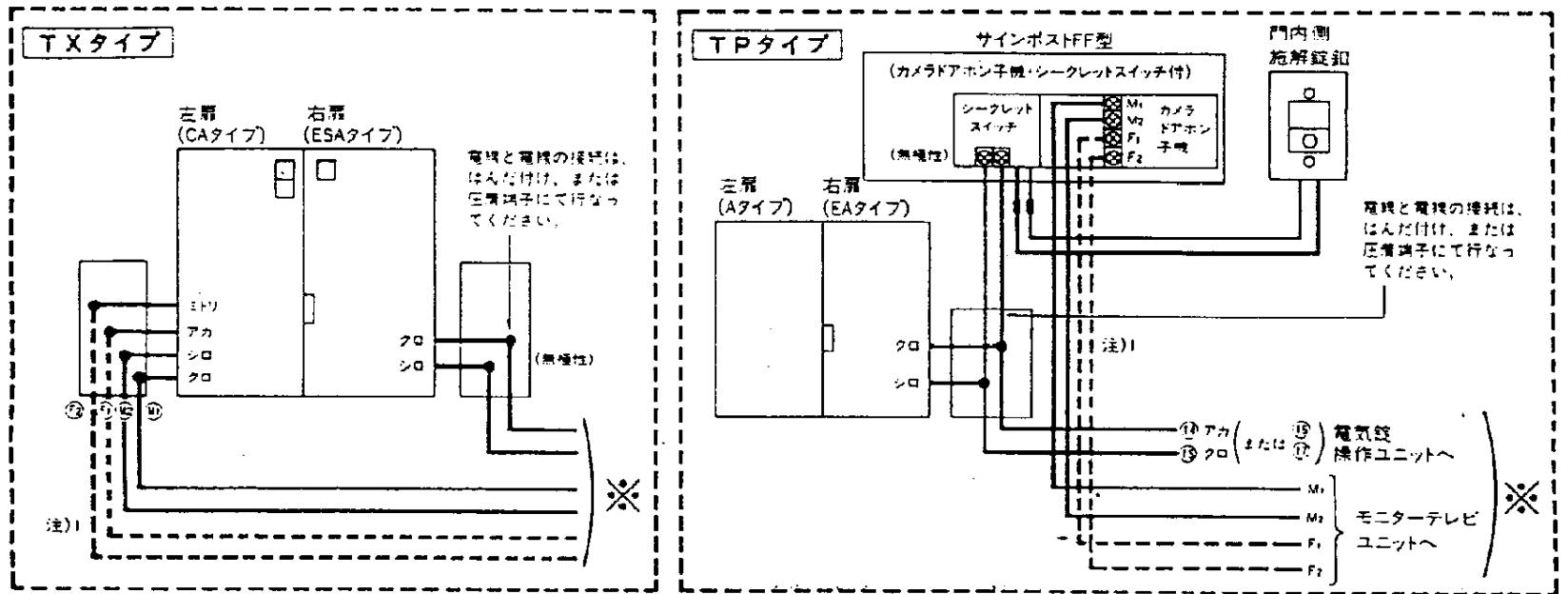
\*通話、映像のみの場合、点線---の配線は不要です。

### ●電気錠付扉とサインポストFF型(シークレットスイッチ付)とを接続する場合

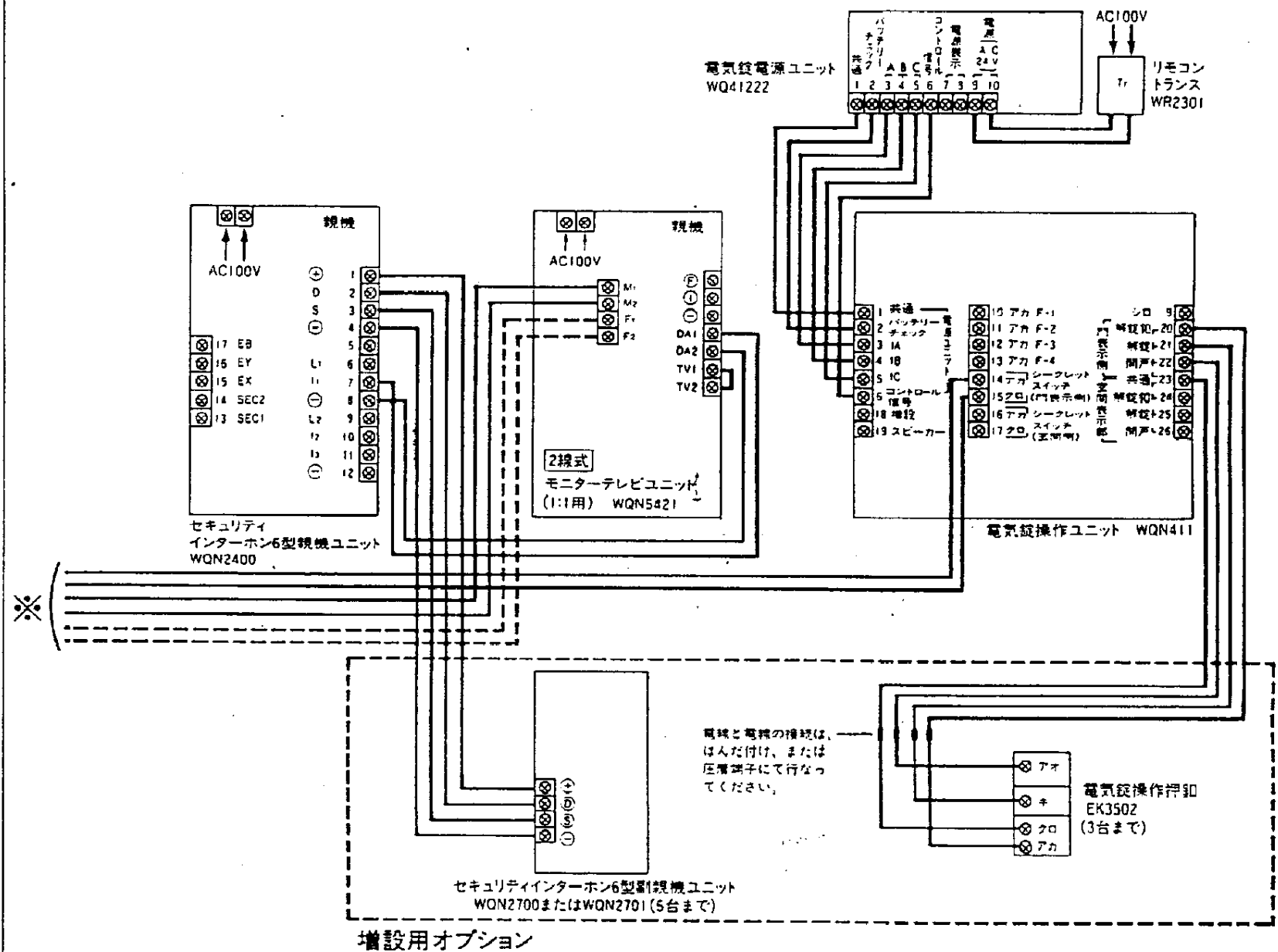


# 結線方法

## 1 TX, TPタイプ



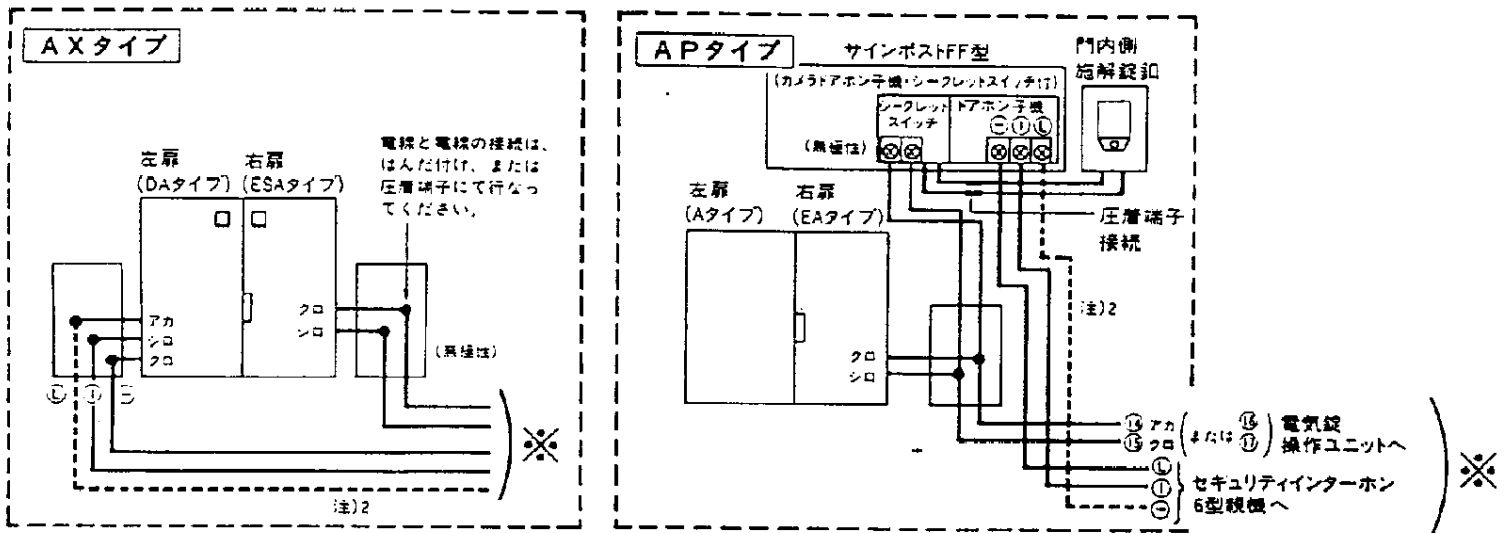
注)1. カメラドアホン子機の通電表示灯、または警報表示灯を使用する場合に---を配線してください。



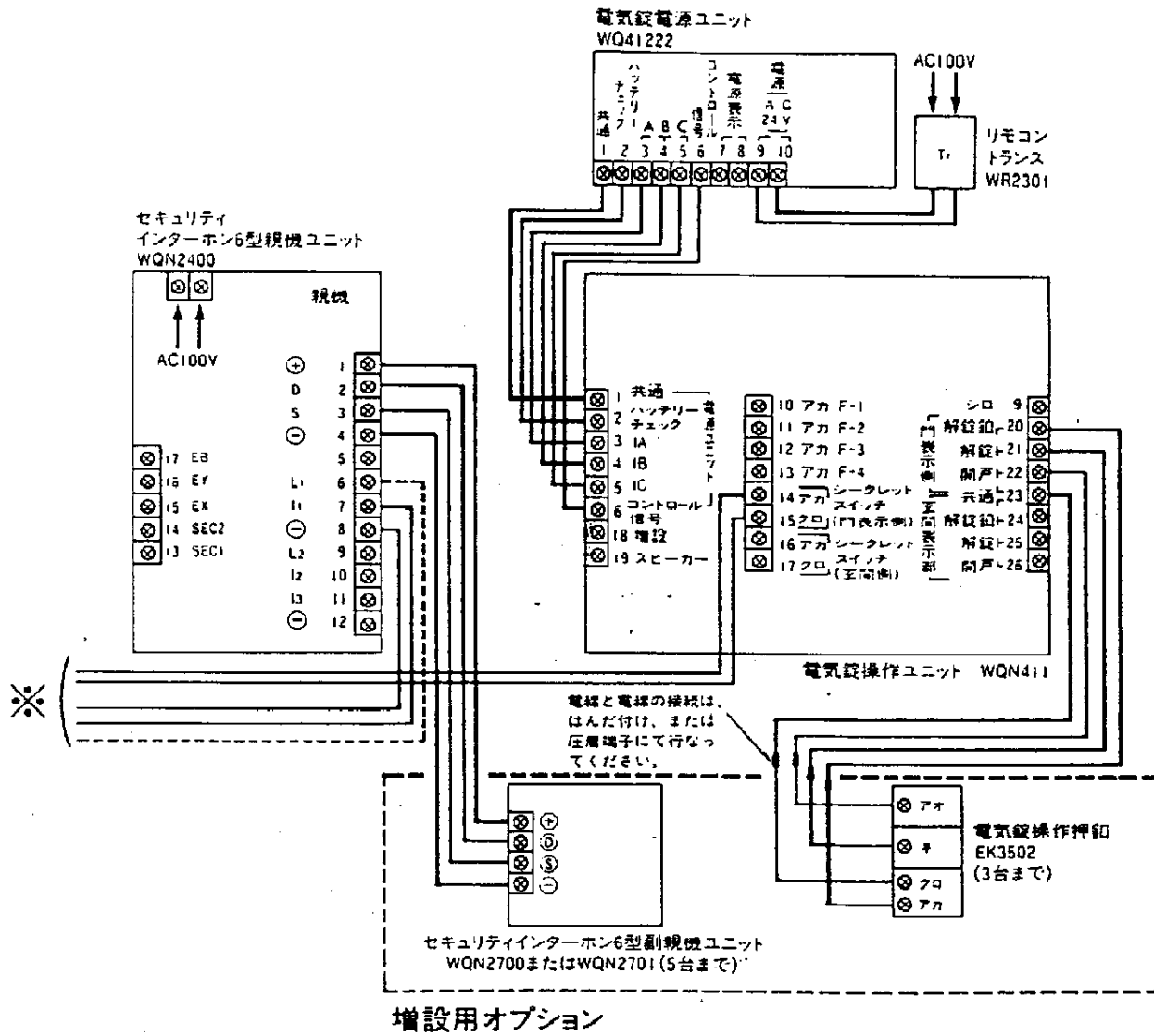
### 配線距離

	0.5mm <sup>2</sup> またはφ0.8mm	0.75mm <sup>2</sup> またはφ1mm
操作ユニット～シーケレットスイッチ	50m	50m
モニターテレビユニット～カメラドアホン子機	50m	75m
電気錠～シーケレットスイッチ	10m	10m
シーケレットスイッチ～門内側施錠錠扣	50m	50m

## 2 AX, APタイプ



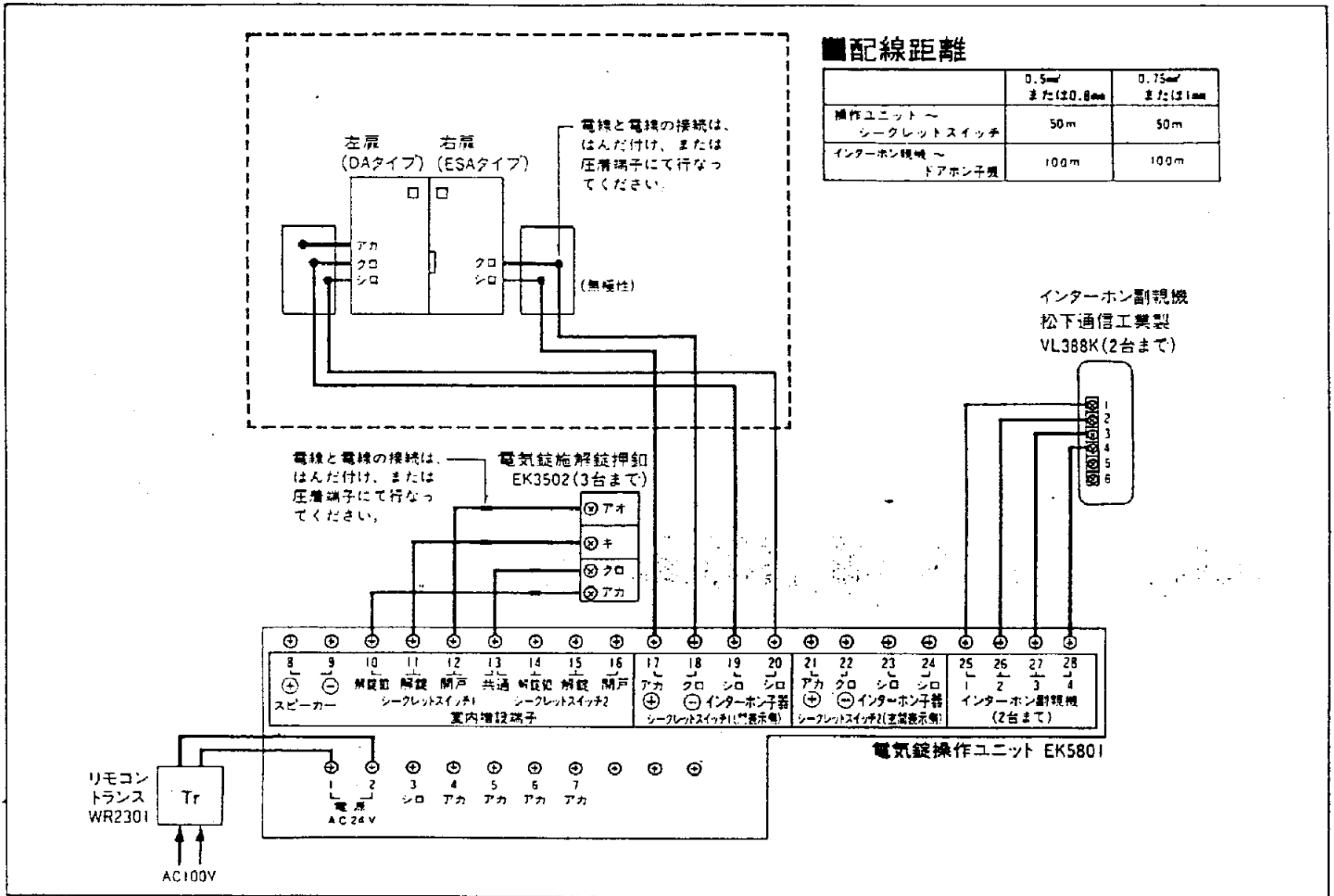
注)2. ドアホン子機の通電表示灯を使用する場合に---を配線してください。



### 配線距離

	0.5mm <sup>2</sup> または0.8mm <sup>2</sup>	0.75mm <sup>2</sup> または1mm <sup>2</sup>
操作ユニット～シークレットスイッチ	50m	50m
モニターテレビユニット～カメラドアホン子機	50m	75m
電気錠～シークレットスイッチ	10m	10m
シークレットスイッチ～門内側施錠錠	50m	50m

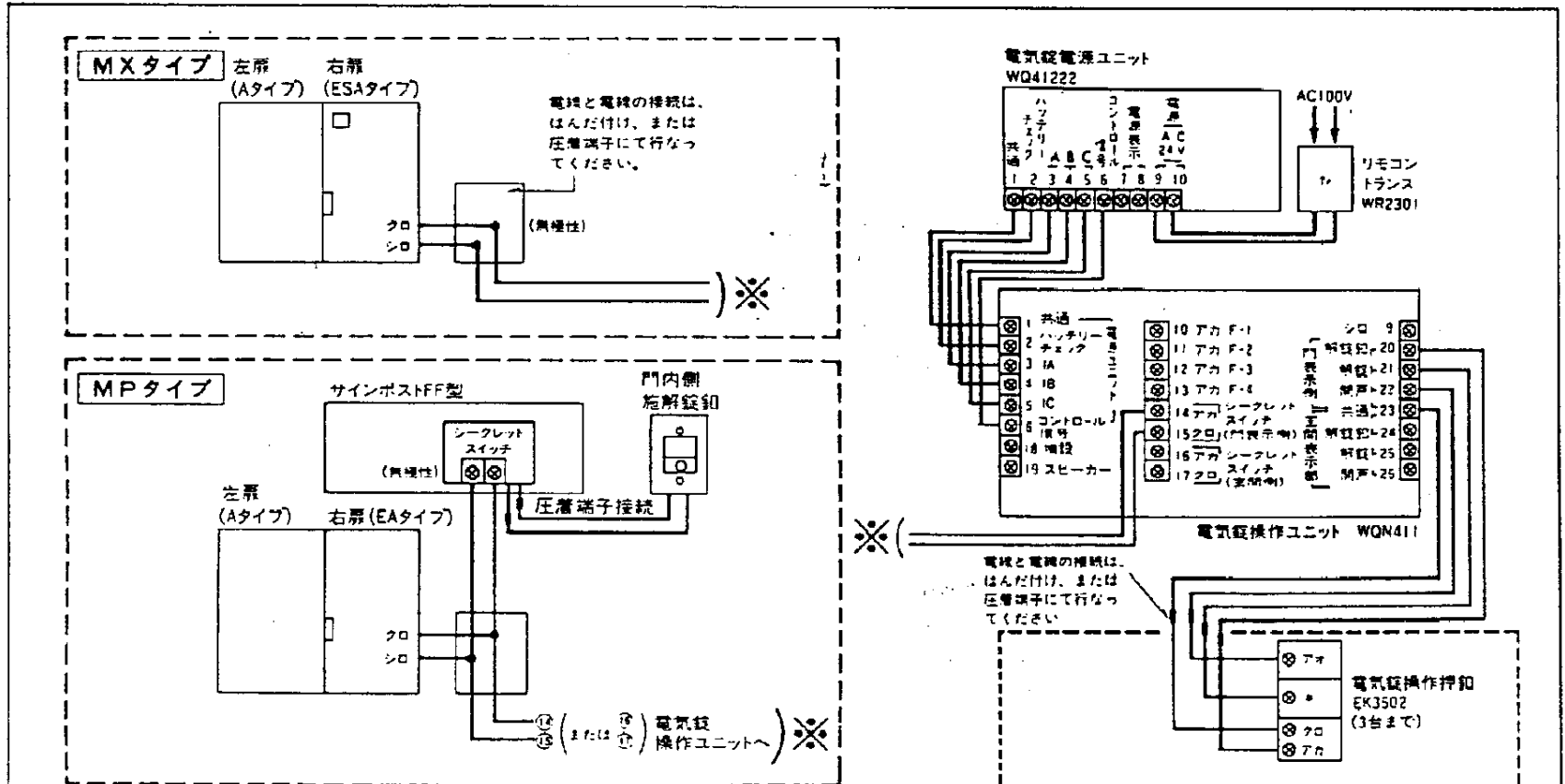
### 3 シンプルプラン



#### 配線距離

	0.5mm <sup>2</sup> または0.8mm	0.75mm <sup>2</sup> または1mm
操作ユニット～ シークレットスイッチ	50m	50m
インターホン観機～ ドアホン子器	100m	100m

### 4 MX, MPタイプ



#### 配線距離

	0.5mm <sup>2</sup> または0.8mm	0.75mm <sup>2</sup> または1mm
操作ユニット～ シークレットスイッチ	50m	50m
電気錠～ シークレットスイッチ	10m	10m
シークレットスイッチ～ 門内側施錠解除	50m	50m



# 施工後の調整とテスト

施工が完了したら次のテストを行なってください。

## 1 テスト前の確認

- (1)扉間スキマは **7~8mm** の範囲内になっていますか。広すぎたり、狭すぎたりする場合はヒジツボのボルトをゆるめて調整してください。
- (2)左扉(固定側扉)の落とし棒はつまみを下げて固定状態にしてください。
- (3)操作ユニット、配線ボックス等内の結線はまちがっていませんか。再度確認してください。

## 2 各部の設定

### ■電気錠操作ユニット

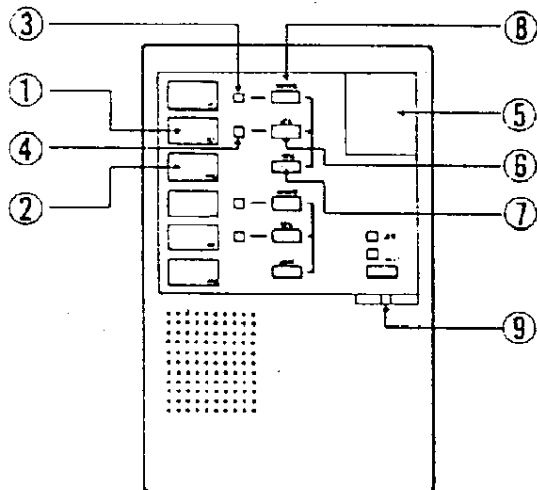
#### ●暗証番号の設定

暗証番号設定スイッチで、4桁の暗証番号を設定してください。

(例) 暗証番号を **0**、**1**、**2**、**1000**の桁 **3**と設定する場合

暗証番号設定スイッチ

#### ●各部の名称



- ①開戸表示ランプ
- ②解錠表示ランプ
- ③自動施錠表示ランプ
- ④警戒表示ランプ
- ⑤暗証番号設定スイッチ 暗証番号の設定は4桁の番号を回転して設定します。
- ⑥警戒セットスイッチ 就寝前など不法に侵入された時に警報音(ピーポー)で家人へ知らせます。
- ⑦解錠押釦 来客を確認し、この押釦を押すと電気錠が解錠します。自動施錠<切>の時は解錠・施錠に使用します。
- ⑧自動施錠切替スイッチ <入>の時、扉を締めると自動的に施錠します。<切>の時、解錠・施錠は押釦またはシークレットスイッチで行います。
- ⑨音量調整つまみ 開戸報知音"ポロロン"の音量調整ができます。

※ご注意:ドアホンの呼出音は増設スピーカからは出ません。

## ■セキュリティインターホン6型

### ●内線番号の設定

設定スイッチで、インターホンの内線番号(1~6番)を設定してください。

※インターホンを複数台設置する場合、同一の内線番号を設定しないでください。

**<カバーのはずし方>**

- ①カバー固定のつめ穴にドライバーを入れてカバーを取りはずす。
- ②設定後は元どおり、カバーを取り付けてください。

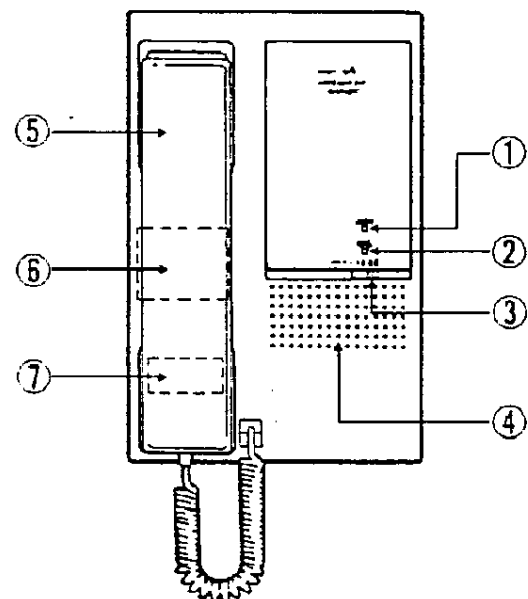
設定スイッチ部カバー

右表よりインターホンの内線番号を設定してください。

SWの番号 内線番号	1	2	3
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定スイッチ

#### ●各部の名称



- ①通話中表示灯
- ②電源灯
- ③音量調整ボリューム
- ④スピーカ
- ⑤ハンドセット
- ⑥個別呼出スイッチ
- ⑦設定スイッチ部 内線番号を設定するスイッチです。

## ■モニターテレビユニット

### ●カメラドアホン子機のカメラ角度調整

ホールキャップを取りはずし、④ドライバーを使って調整ネジを左右に回します。モニターテレビの映像を確認して適当な位置に調整してください。

レンズ角度	撮影可能範囲
上向き15度 (右に回して止まる位置)	約172cm～197cm
上向き5度 (左に回して止まる位置)	約147cm～172cm

●カメラに映る範囲(カメラドアホン付扉(H1600)の場合)  
カメラドアホン子機付門扉(CAタイプ)

モニターテレビユニット  
(1:1用)WQN5421

- ①モニターテレビ部 4インチフラット型ブラウン管です。
- ②モニター押釦 家の中からカメラをONして玄関先の様子を確認できます。
- ③ブライト調整 画面の明るさが調整できます。
- ④コントラスト調整 コントラストを好みの濃度に調整できます。

## ■2線式 シークレットスイッチ

## ■ドアホン子機

## ■映像2線式カメラドアホン子機

## ■門内側施錠押釦

シークレットスイッチ付扉の場合

シークレットスイッチ付サインポストの場合  
EG33

### 3 テスト

#### 1. 電気錠

操作ユニットは、門扉や玄関ドアなど2台の電気錠を操作できます。  
操作錠は全て押すことにより戻し(入・切)となります。

- ①電源を入れる。————— 通電表示灯が点灯する
- ②自動施錠切替スイッチを入れる。————— 表示灯が点灯する
- ③警戒セットスイッチを押す。————— 表示灯が点灯する(緑)
  - 扉をがたつかせても開戸表示灯が点灯したり 警報音「ピーポー」が鳴らないこと
- ④操作ユニットの施解錠押錠、門内側施解錠押錠を押す。————— 「ピッ」音が鳴り、電気錠が解錠(施錠)する。
  - 操作ユニットの解錠表示ランプが点灯し、扉を開けると操作ユニットから開戸報知音「ポロロン」が鳴り、開戸表示灯が点灯する。
  - 扉を閉めると開戸表示灯が消灯し、錠が自動施錠され解錠表示灯が消灯する。
- ⑤シークレットスイッチの暗証番号を押す。
  - スタート** 錠を押すと「ピッ」音が出て番号(0～9)が点灯する。
  - 4桁の暗証番号を順番に押すと、表示が数字0～9からF<sub>1</sub>～F<sub>4</sub>に変わる。
  - エンド** 錠を押すと解錠表示灯が点灯し、「ピー」音が鳴って解錠される。
  - 扉を開き再び閉めると「ピー」音が鳴り、解錠表示灯が消えて施錠される。

#### 2. ドアホン子機(AX, APタイプ)

- ①電源を入れる。————— 電源灯が点灯する。
  - ドアホンの①端子(門扉・3芯ケーブルの赤色リード線)を操作ユニットと結線している場合、ドアホンの通電表示灯が点灯する。
- ②ドアホンの呼出錠を押す。————— 「ピンポン」音が鳴って、通話中表示灯が点滅する。
  - ハンドセットを上げると通話中表示灯が点灯し、ドアホンと通話できる。
  - ハンドセットを上げない場合、約30秒で通話中表示灯が消灯して応答できなくなる。
- ③ハンドセットを上げてドアホン選択ボタンを押す。————— 通話中表示灯が点灯する。
  - ドアホンと通話できる。
- ④ハンドセットをおろす。————— 通話中表示灯が消灯する。

### 3. カメラドアホン子機(TX, TPタイプ)

- ①電源を入れる。———— インターホンの電源灯が点灯する。
  - カメラドアホンの④、⑤端子(門扉4芯ケーブルの赤色及び緑色リード線)をモニターテレビユニットと結線している場合、カメラドアホンの通電表示灯が点灯する。
  
- ②カメラドアホンの呼出釦を押す。———— 「ピンポン」音が鳴って通話中表示灯が点滅し、モニターテレビに映像が出る。
  - インターホンのハンドセットを上げると通話中表示灯が点灯し、カメラドアホンと通話できる。
  - ハンドセットを上げない場合、約30秒で通話中表示灯が消灯し、映像が消えて応答できなくなる。
  
- ③モニターテレビのモニターボタンを押す。———— モニターテレビに映像が出る。
  - もう一度モニターボタンを押すか、あるいは約30秒経過すると映像が消える。
  
- ④インターホンのハンドセットを上げてドアホン選択ボタンを押す。———— 通話中表示灯が点灯し、モニターテレビに映像が出る。
  - カメラドアホンと通話できる。
  
- ⑤ハンドセットをおろす。———— 通話中表示が消灯する。